

建設コンサルタント技術管理者認定 申請の手引き

令和8年4月

国土交通省不動産・建設経済局
建設振興課
専門工事業・建設関連業振興室

内容

1. 建設コンサルタント技術管理者認定制度の概要	3
2. 認定申請の要件等について	3
(1) 申請要件	3
(2) 申請不可要件	4
(3) 認定後の注意点	5
3. 申請から認定までの流れ	5
4. 申請の期間	5
5. 申請に必要な書類等	6
6. 申請書類の記載方法等	7
(1) 別添4：実務経験証明書について	7
(2) 別添4 実務経験年数記載以外について	11
7. 審査基準	18
8. 申請書類の提出先・問い合わせ先	21
(1) 申請書類の提出先	21
(2) 問い合わせ先	21
記載例	22

1. 建設コンサルタント技術管理者認定制度の概要

建設コンサルタント登録規程（以下「登録規程」という。）第2条により登録を受けようとする建設コンサルタントは、登録規程第3条第1号により登録を受けようとする部門ごとに当該登録部門に係る技術上の管理をつかさどる専任の者（以下「技術管理者」という。）を置かなければなりません。技術管理者については、原則として登録規程第3条第1号イに定める技術士等としていますが、登録規程第3条第1号ロにより、技術士等と同程度の知識及び技術を有する者として国土交通大臣に認定された者を技術管理者として置くこともできます。

建設コンサルタント技術管理者認定制度とは、当該登録部門における一定の実務経験を有している者について、国土交通大臣が技術士等と同等の知識及び技術を有する者として認定する制度です。

2. 認定申請の要件等について

認定申請の要件等は、登録規程の解釈及び運用の方針（以下「解釈及び運用の方針」という。）に規定していますので、申請前にご一読ください。

（1）申請要件

○所属する技術者が以下のいずれかに該当すると判断された場合は認定されます。

1)	申請する部門の業務に関し、実務経験を30年以上有するとき。	解釈及び運用の方針 2（3）③イ
2)	大学又は高等専門学校を卒業後、申請する部門の業務に関し、実務経験を20年以上有するとき。	解釈及び運用の方針 2（3）③ロ
3)	申請する部門以外の部門で技術士登録を受けている者が、申請する部門の業務に関し、実務経験を10年以上有するとき。	解釈及び運用の方針 2（3）③ハ
4)	申請する部門の「RCCM資格試験」に合格し、その登録を受けている者で、 <u>（試験合格後）技術管理者又は技術士の指導^{※1}のもとで当該部門の業務に関し、技術上の管理を行う業務^{※2}の実務経験を5年以上有するとき。</u>	解釈及び運用の方針 2（3）③ニ

※1：技術管理者又は技術士の指導とは、申請する部門若しくは申請する部門以外の技術士又は技術管理者から、業務の技術上の管理に関する指導を受けたことを意味します。
また、指導を行った技術管理者又は技術士が、申請時点で建設コンサルタントに所属している場合は、解釈及び運用の方針2（3）②イの申請不可要件に該当しないかご確認ください。

※2：技術上の管理を行う業務とは原則、**管理技術者、照査技術者又は主任技術者**が行う業務とします。

(2) 申請不可要件

○以下3点のいずれかに該当する場合は、認定申請を行うことができません。

1)	認定申請を行おうとする部門に技術管理者としての要件を満たす者（登録規程別表の要件に該当する者又は技術管理者として認定された者（以下「要件を満たす者」という。））が、既に所属している場合	解釈及び運用の方針 2（3）②イ
<p>【例外】</p> <p>①要件を満たす者が、既に他部門の技術管理者として登録されている場合。</p> <p>②認定申請を行う部門の技術管理者が、退職等の理由によって、技術管理者として勤務できない場合。 ※この場合誓約書の提出が必要となりますので、各地方整備局等の担当までご相談ください。</p> <p>②-1 退職等の理由とは、退職又は病気・育児・介護等によりやむなく常勤性を欠く状態となることで、<u>会社の人事上の都合は含みません</u>。</p> <p>②-2 退職により全ての部門の技術管理者が認定申請による認定技術者となる場合は、建設コンサルタント登録の要件を欠くこととなります。</p>		
2)	認定を受けようとする建設コンサルタントの全ての技術管理者が、各登録部門に対応する技術士等でない場合	解釈及び運用の方針 2（3）②ロ
3)	認定を受けようとする建設コンサルタントに技術管理者がいない場合（建設コンサルタント登録を受けていない場合）	解釈及び運用の方針 2（3）②ハ

○注意事項

- ・技術管理者は専任かつ各部門に一人であるため、同一の技術者が複数部門の認定申請を行うことや、複数の技術者が同一部門の認定申請を行うことはできません。
- ・認定申請を行う建設コンサルタントに所属していない技術者については、認定申請はできません。
- ・申請時点で公務員・団体職員である技術者については、申請を行うことはできません。
- ・認定申請を行おうとする部門にあらかじめ技術管理者がいる場合は、申請することができません。ただし、現在の技術管理者に退職予定などがあり、認定後速やかに技術管理者の変更を届け出ることが確約されている場合は認定を受け付けることができます。この場合誓約書の提出が必要となりますので、事前に各地方整備局等へお問い合わせください。

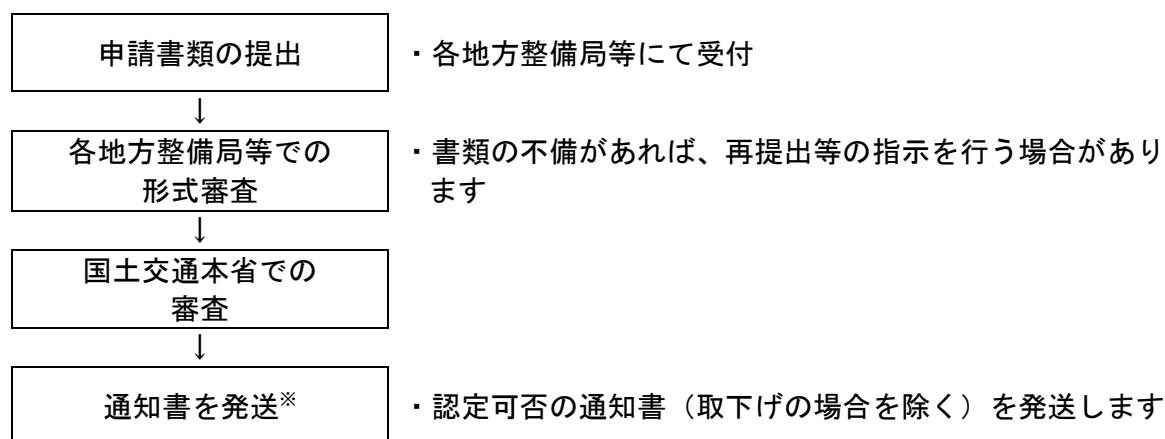
(3) 認定後の注意点

○認定された後、以下のいずれかに該当する場合は、認定の効力は失われます。

1)	認定を受けた後、1年以内に技術管理者として登録しないとき。	解釈及び運用の方針 2(3)⑩
2)	認定を受けた後、その建設コンサルタントを退職したとき ^{※1} 。 ※1：認定は個人ではなく、建設コンサルタントに行うものであり、認定を受けた者が、他の登録業者に移籍した場合は、その効力を失います。	
3)	登録規程第7条第1項に基づく現況報告書の「過去に認定された経歴を有する者の一覧表」に記載がないとき。	
4)	全登録部門の技術管理者が認定を受けた技術者（以下「認定技術者」という。）だけとなったとき ^{※2} 。 ※2：すべての登録部門の技術管理者が認定技術者となった場合、登録の要件を欠くことになり、登録は消除されます。	

3. 申請から認定までの流れ

申請から認定までの流れは以下のとおりです。



※認定可否に関する通知書の発送については、概ね翌年2月下旬～3月上旬頃を予定しています。

4. 申請の期間

申請の期間は、毎年7月1日から7月31日（必着）までです[※]。
ただし、7月31日が休日の場合は、直後の開庁日（平日）までとします。

※解釈及び運用の方針2(3)④

5. 申請に必要な書類等

○申請に必要な書類は、以下のとおりです。

必要書類		申請区分	イ※1 30年	ロ※1 20年	ハ※1 10年	ニ※1 5年	備考
申請書類	第1号様式		○	○	○	○	表紙
	別添1		○	○	○	○	申請書概要調書
	別添2		○	○	○	○	経歴書（その1）
	別添3		○	○	○	○	経歴書（その2）
	別添4		○	○	○	○	実務経歴証明書
	第2号様式					○	管理技術者等実務経歴証明書
添付書類	住民票（原本）		○	○	○	○	本籍地・マイナンバー不記載
	卒業証明書（原本）			○			大学院を修了している場合も大学（学士）の卒業証明書を提出
	技術士登録等証明書（写）				○		
	RCCM登録等証明書（写）					○	RCCM登録証とは異なる
	実務経歴チェック表		○※2	○※2	○※2	○※2	※2 マクロ機能を使用して作成した場合は不要
	通知書返信用封筒（角形2号）		○	○	○	○	切手貼付・宛名記載

※1 解釈及び運用の方針2(3)③

○申請に必要な書類の入手方法

- ・申請に必要な書類の様式は、国土交通省HPより入手ください。

URL https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000032.html

国土交通省 技術管理者 認定

検索

○申請にあたっての注意事項

- ・書類の提出部数は、申請書類・添付書類共に、正1部・副1部です。
- ・申請書類と添付書類は、それぞれ別にクリップ止めして提出ください。

6. 申請書類の記載方法等

(1) 別添4：実務経験証明書について

○「別添4：実務経験証明書」の記載にあたっては、以下のとおりとしてください。記入漏れやこれに従わない記載の場合には、**実務経験年数として認めない可能性がありますので、必ずご確認ください。**

1) 期間

期間の欄は、各業務の実際の契約期間を記載してください。実務経験年数と一致しなくても構いません。

2) 実務経験年数

実務経験年数欄に記載する期間は、「業務の内容」に記載された業務について、他の業務に一切関わることなく、その業務に専任して従事した期間です。1ヶ月から12ヶ月の範囲内で月単位で記載してください。1ヶ月に満たない実務経験、1年を超える実務経験は実務経験として認められません。少数点表示の記載も実務経験年数として認められません。

(国債業務や繰り越し業務で1年を超える業務について記載する場合、複数行に分けた上で、各行には年度ごとの業務の内容を記載して下さい。その際、年度毎の業務の内容の違いがわかるよう明記して下さい)。

【不適切な記載の例】

- ・ 0.5月などの少数点表示
- ・ 1年1月、2年0ヶ月などの1年を超える表示。

前述のとおり、実務経験年数はその業務に専任して従事した期間となりますので、他業務を行った期間と重複することはありません。

例えば、下記のように10ヶ月の間にA業務・B業務・C業務3件の業務を担当していたとして、A～Cの契約期間に重複する期間があることは許されますが、A～C業務の実務経験年数の合計が10ヶ月を超えることは許されません。

(実務経験年数が不適切な例)

実務経験証明書					認定対象者の氏名	国土交通 太郎	
期 間	実務経験年数		業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)		
自 H30年 8月 至 H31年 3月	年 3月	月	(株)〇〇 〇〇部 〇〇 照査技術者 〇〇地区詳細設計業務・・・	〇〇〇〇	〇〇〇〇		
自 H30年 8月 至 H31年 3月	年 3月	月	(株)〇〇 〇〇部 〇〇 管理技術者 △△地区詳細設計業務・・・	△△△△	△△△△		
自 H30年 8月 至 R元 年 5月	年 6月	月	(株)〇〇 〇〇部 〇〇 担当技術者 □□地区詳細設計業務・・・	□□□□	□□□□		

2の誤り

5の誤り

重複してもよい。

(⑥登録部門ごとに求められる記載が必要な業務の諸元)

部門	記載が必要な諸元の例
河川、砂防及び海岸・海洋部門	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の名称、水系名、級 ・河川管理施設の名称（種類）、規模（延長、高さ等） ・ダムの種類、名称、諸元（高さ等） ・砂防施設の種類、名称、規模（延長、高さ等） ・水局海岸の名称 ・水局海岸の海岸保全施設の名称、規模（延長等）
港湾及び空港部門	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾の名称 ・港湾施設の名称、規模（延長等） ・空港の名称 ・空港施設の名称、規模（延長等） ・港湾海岸の名称 ・港湾海岸の海岸保全施設の名称、規模（延長等）
電力土木部門	<ul style="list-style-type: none"> ・発電用施設の名称、規模（延長、高さ等）
道路部門	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の名称（種類）、種・級区分 ・道路の規模（延長、幅員等） ・構造物の名称、規模（延長、高さ等）
鉄道部門	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道路線における駅あるいは駅間、踏切、車両基地、停車場、操作場の名称 ・土木施設の名称、規模（延長等） ・電気施設の名称、規模（延長等）
上水道及び工業用水道部門	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の名称、種類 ・水道施設の種類、名称 ・構造物の種類、名称、規模（径、延長、高さ等）
下水道部門	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の名称、排除区分 ・下水処理施設の種類、名称 ・構造物の種類、名称、規模（径、延長、高さ等）
農業土木部門	<ul style="list-style-type: none"> ・かんがい施設の名称、規模（延長、高さ等）
森林土木部門	<ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の種類、名称、規模（延長、高さ等） ・林道の名称（種類）、規模（延長、幅員等）

水産土木部門	・漁港の名称 ・漁港施設の名称、規模（延長等） ・漁港海岸の名称 ・漁港海岸の海岸保全施設の名称、規模（延長等）
廃棄物部門	・廃棄物処理施設の名称、規模（処理面積、処理容量等）
造園部門	・公園・緑地等の種類、名称、規模（面積等）
都市計画及び地方計画部門	・調査・計画等の種類、名称、規模（面積等）
地質部門	・地質調査の種類、名称、規模（数量、深度）
土質及び基礎部門	・構造物の種類、名称、規模（延長、高さ、材質等）
鋼構造及びコンクリート部門	・構造物の種類、名称、規模（延長、高さ、材質等）
トンネル部門	・トンネルの種類、名称、規模（延長、幅員、高さ等） ・構造物の種類、名称、規模（延長、高さ、材質等）
施工計画、施工設備及び積算部門	・構造物の種類、名称、規模（延長、高さ等） ・構造物の施工計画・施工方法に係る検討内容
建設環境部門	・調査・計画等の種類、名称、規模（面積等）
機械部門	・機械設備の種類、名称、規模（延長、幅員、高さ等）
電気電子部門	・電気通信施設・設備の種類、名称、規模（延長、高さ等）

4) 契約の相手方の名称及び契約金額欄

イ) 「契約の相手方の名称」

「契約の相手方の名称」欄は、契約の相手方の**正式名称**を記載してください。なお、直営業務（請負・外注せず自ら実施した業務）や社内業務等については、直営業務等と分かるよう記載してください。

ロ) 「契約金額」

「契約金額」欄は、契約金額を千円単位で記載してください。なお、直営業務（請負・外注せず自ら実施した業務）や社内業務等については、**直営業務等と分かるよう記載してください。**

※公務員・団体職員だった者の記載

発注した業務の担当として、所管したものを記載してください。なお、直営業務（請負・外注せず自ら実施した業務）の場合の記載は、上記のとおりです。

※例年、記入漏れが多い項目です。必ずご確認ください。

(2) 別添4 実務経験年数記載以外について

第1号様式

第1号様式(第3条第1号ロ)

(用紙A4)

正副の別
正

正又は副を記載する。

技術管理者認定申請書

建設コンサルタント登録規程に基づく登録を受けるため、下記の者が同規程第3条第1号ロに該当するものであることの認定を申請します。

提出(ポストに投函する)する年月日を記載する。

令和 1 年 7 月 1 日

国土交通大臣 殿

東京都千代田区霞が関2-1-3

申請者 株式会社 国土交通

代表取締役 国土交通 太郎

建設コンサルタント登録の情報と同じ、住所、商号又は名称、代表者の氏名を記載。
代表者の押印は不要。

記

登録を受けようとする登録部門	河川、砂防及び海岸・海洋部門				
(ふりがな) 認定対象者の氏名	こくどこうつう たろう 国土交通 太郎		住所	東京都千代田区霞が関〇-〇-〇	
生年月日	S49 年 11 月 7 日生	最終学校名及び学科名	〇〇大学〇〇学部〇 〇学科	卒業修了年月	H6 年 3 月 卒業 修了
添付書類	申請者概要調書	別添1のとおり			
	経歴書(その1)	別添2のとおり			
	経歴書(その2)	別添3のとおり			
	実務経験証明書	別添4のとおり			

建設コンサルタント登録規程の「別表」に係る登録部門名を記載する。

氏名	〇〇 〇〇
所属部課名	営業部営業第一課
電話番号	03-1234-1234
FAX番号	03-1234-1235

審査担当者からの問い合わせに対応できる者を記載する。

記載要領

技術管理者認定申請書には、法人、個人の場合とも申請者概要調書、経歴書(その1)、経歴書(その2)及び実務経験証明書を添付すること。

別添 1

(第1号様式 (第3条第1号口))

別添 1

(用紙A4)

申請書概要調書

令和 1 年 7 月 1 日現在

商号又は名称 (ふりがな) かぶしがいいしゃ こくどこうつう 株式会社 国土交通	所在地 東京都千代田区霞が関2-1-3
代表者の氏名 (ふりがな) こくど こうつうたろう 代表取締役 国土交通 太郎	創業年月日 H1 年 4 月 1 日
役員数及び 職員数	役員 5 人 技術職員 3 人 事務職員 2 人 合計 10 人
資本金 10,000 千円	自己資本額 50,000 千円
営業の種類 (登録等受けているときは、その登録番号等を記入する。)	売上高 (自平成 31 年 4 月 1 日 至令和 1 年 3 月 31 日)
建設コンサルタント (建 01 第 1234 号)	建設コンサルタント 5,300 千円
地質調査業 (質 01 第 567 号)	地質調査業 2,300 千円
測量業 (登録第 (2) - 89101 号)	測量業 4,800 千円
建設業 (許可 (-) 第 号)	建設業 千円
	その他 千円
	合計 12,400 千円
所属している 団体名	一般社団法人〇〇コンサルタンツ協会

本調書作成日を記載

提出済の直近現況報告書の数値と一致しているか確認すること。変更がある場合は、変更届書の提出が必要。

提出済の直近現況報告書と一致するか確認すること。

提出済の直近現況報告書の時点を記入すること。

提出済の直近現況報告書と一致するか確認すること。また、建設コンサルタント以外の他業についても、提出済の現況報告書等の数値と一致するか確認すること。

記載要領

- 「資本金」の欄は、法人である場合のみ記載すること。
- 「自己資本額」の欄は、法人、個人ともに貸借対照表における純資産合計の額を記載すること。
- 「売上高」の欄は、直前の営業年度におけるものを記載すること。
- 「所属している団体名」の欄は、建設コンサルタントの組織する団体に所属している場合のみ記載すること。

別添2

第1号様式(第3条第1号ロ)

(用紙A4)

別添2

経歴書 (その1)

認定を受けようとする登録部門	河川、砂防及び海岸・海洋部門		
認定対象者の氏名	国土交通 太郎		
	商号又は名称	株式会社 国土交通	
生年月日	認定対象者が技術士法による技術士の登録を受けている場合	技術部門	建設部門
		選択科目	道路
最終学校名及び学科名	認定対象者がRCCMの登録を受けている場合	登録年月日	H○年○月○日
		登録番号	第○○○○号
卒業・修了年月	認定対象者がRCCMの登録を受けている場合	技術部門	河川、砂防及び海岸・海洋部門
		登録年月日	H○年○月○日
		登録番号	第○○○○号
他の企業での兼務状況		その他取得している資格	
企業名及び役職名	勤務の形態	資格の名称	取得年月日
なし		なし	

認定申請する部門に対応する技術士登録以外の登録を受けている場合も記入する。
なお、複数の登録を受けている場合は、経験年数が最も多いものを記入する。

認定申請する部門に対応するRCCMの登録を受けている場合は、必ず記載する。

認定申請する技術者が他の企業と兼務している場合は、必ず記載する。兼務がない場合は「なし」と記入する。

一級建築士、一級土木施工管理技士等、建設コンサルタント業務に関係する一級以上の資格を有する場合に記載する。

記載要領

「その他取得している資格」の欄には、建築士、土木施工管理技士等の資格がある場合に記載すること。

別添3

(第1号様式(第3条第1号ロ))

別添3

(用紙4)

経 歴 書 (その2)

		認定対象者の氏名	
		国土交通 太郎	
在 職 期 間	在 職 年 数	経 歴 (企業名、所属部課名及び役職名)	左のうち実務 経 験 年 数
自 S53 年 4 月	6 年 月	株式会社 ○○コンサルタント 技術部○○課 ○○担当	5 年 1 月
至 S59 年 3 月			
自 S59 年 4 月	3 年 月	株式会社 ○○設計 (商号変更) 技術管理部○○課 ○○担当	2 年 5 月
至 S62 年 3 月			
自 平成9 年 4 月	4 年 月	株式会社 ○○測量設計 ○○課○○係 ○○係長	年 8 月
至 平成11 年 7 月			
自 平成11 年 8 月	4 年 月	株式会社 ○○測量設計 △△課○○課課長 △△係長	年 月
至 平成14 年 3 月			
自 平成14 年 4 月	6 年 月	□□コンサルタント株式会社 管理技術部○○課 ○○課長代理	年 月
至 平成20 年 3 月			
自 平成20 年 4 月	5 年 月	□□コンサルタント株式会社 管理技術部○○課 ○○課長	年 月
至 平成25 年 3 月			
自 平成25 年 4 月	3 年 月	株式会社○×設計 設計部 課長	1 年 月
至 平成28 年 3 月			
自 平成29 年 4 月	2 年 3 月	株式会社 △△土木コンサルタント 取締役	年 月
至 平成31 年 6 月			
自 年 月	年 月		年 月
至 年 月			
自 年 月	年 月		年 月
至 年 月			
合 計	33 年 3 月		9 年 2 月

企業名、所属部課名及び役職名
が変わるごとに行を改めて記載す
る。

在職年数のうち、認定を受けよう
とする実務経験年数(別添4「実
務経験証明書」の記載する年数)
を記載する。

別添4「実務経験証明書」に記載
した実務経験年数の合計と一致
する。
複数ページにわたる場合は、最終
ページは累計を、それ以外のペー
ジにはページ内の合計を記載す
る。

記載要領

- 1 企業名、所属部課名又は役職名が変わるごとに行を改めて記載すること。

別添4

(第1号様式(第3条第1号))

別添4

(用紙A4)

実務経験証明書

認定対象者の氏名 **国土交通 太郎**

建設コンサルタント技術管理者認定の手引き「6. 申請書類の記載について」を参照のこと。

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
自 年 月 至 年 月	年 月			
小 計 (累 計)	年 月 (年 月)			

P22 以降の実務経験証明書の記載例を参照のこと。

上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。
 令和 1 年 7 月 1 日
 証明者 (株)△△コンサル 代表取締役 △△ △△

証明者と被証明者との関係
 (証明を得ることができないときはその理由)
 元雇用主と元被雇用者

証明を得ることができない場合、会社倒産のためなど、事実が確認できるよう具体的に記載すること。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容、従事していた業務上の立場等を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

真正性を確認するため、実務経験証明を行った者の所属部署名、役職名、氏名、連絡先を記載すること

(株)△△コンサル 人事部 人事課長 国土太郎
 電話番号: 000-0000-0000 メールアドレス: xxx@xxx.co.jp

第2号様式

第2号様式(第3条第1号ロ)

(用紙A4)

管理技術者等実務経験証明書

		認定対象者の氏名	国土交通 太郎
期 間	実務経験年数	主 な 業 務 の 内 容	
H25 年 4 月 から H28 年 3 月 まで	1 年 月	企業名：(株)〇×設計、職名：技術部課長、契約名：〇〇川護岸測量設計委託、契約の相手方：〇〇県〇〇市役所、契約金額：契約金額〇〇万円、契約の期間：H26.4～H27.3、工事の規模：〇〇水系一級河川〇〇川 連続ブロック護岸詳細設計(兩岸 計L=60、H=5m)、カワセミ営巣ブロック配置計画、川面側堤脚部遊歩道設計、スロープ1箇所、本人の役割：管理技術者	
年 月 から 年 月 まで	年 月		
合 計	1 年 月		
上記の者が上記のとおり土木設計等委託契約書の履行业務の技術上の管理を行う業務の経験を有することを証明します。			
令和 1 年 6 月 30 日			
		技術士氏名	建設 二郎
		技術士登録番号	〇〇 〇〇
		合格した技術部門の名称	建設部門
		選択科目	河川、砂防及び海岸・海洋部門
証明を得ることができない場合の理由			

下段記載要領をよく確認し、実務経験職務経歴書より主な業務を抜き出して記載ください。

証明を行う技術士が、申請部門の技術士で、かつ認定申請を行う社に在籍している場合は、基本的に認定申請できませんので、ご注意ください。(証明を行う技術士が別部門の技術管理者となっている場合を除く。)

記載要領

- 1 本証明書は、証明をする技術士又は技術管理者ごとに作成して下さい。
- 2 「主な業務の内容」の欄は、企業名、職名及び本人が管理技術者等として従事した主な調査、設計、監理等の業務に関する契約名、契約の相手方、契約金額、契約期間、工事の規模、本人の業務上の役割について簡潔に記載して下さい。
- 3 同一の技術士又は技術管理者のもとであっても、認定対象者が企業、所属部課、役職が変わった場合には、欄を改めて記載して下さい。
- 4 証明者が技術管理者の場合については、「技術士氏名」を技術管理者氏名と読替えて、以下に従って記載して下さい。
 - ①一級建築士の場合は、「技術士氏名」には一級建築士の氏名を、「技術士登録番号」には一級建築士の登録番号を記載するものとし、「合格した技術部門の名称」には一級建築士と記載して下さい。なお、「選択科目」は空欄として下さい。
 - ②認定技術管理者の場合は、「技術士氏名」は認定技術管理者の氏名を、「技術士登録番号」には当該者が所属する建設コンサルタントの登録番号を、「合格した技術部門の名称」には当該者が技術管理者になっている登録部門名を、「選択科目」には認定技術管理者と記載して下さい。
- 5 技術士の死亡等により証明を得ることができない場合には、その理由を「証明を得ることができない場合の理由」の欄に、事実の確認ができるよう具体的に記述して下さい。

7. 審査基準

審査過程における公平性、透明性等を確保するため、以下のような審査基準表に基づき、審査を実施します。

認定の審査にあたっては、実務経験証明書の記載内容のみで審査を行っております。業務の内容の欄の記載に当たっては、当該部門の実務経験であること、技術的内容を含む実務経験であること等が明確に判断できるよう、具体的かつ詳細に記載してください。

技術管理者の要件として技術士と同程度の知識及び技術を有するものであることが求められるため、以下のような実務経験については、申請された実務経験年数から低減して評価または実務経験年数としての評価の対象外とします。（※下表参考）

認定要件として必要とされる実務経験年数に達するよう余裕をもって、実務経験証明書を作成してください。

- ・ 他の部門の業務（積算のみの業務は施工計画、施工設備及び積算部門の業務とみなされます。）や建設コンサルタント業務以外の業務（測量業務、地質調査業務、補償コンサルタント業務、建築設計業務等）の場合。
- ・ 単純な作業（単なる観測値の取得などの調査、設計を伴わない現況図面の作成及び対象とする施設・構造物の規模が著しく小さい業務等）、事務的な業務（申請書類等の作成）等の技術的内容を含まない場合。
- ・ 軽微な業務（対象とする施設・構造物の規模が小さい業務等）、検討・解析等を要しない調査のみ等、高度な技術的内容を含まない場合。
- ・ 「業務の内容」欄の記載の不足、抽象的な記載等により、技術的な観点からの評価が困難な場合。
- ・ 業務の規模や契約金額と比較して実務経験年数が長く、その期間の全てを専らその業務に従事していたとは考えにくい場合。

（例）

契約金額が 100 万円以下の場合、その業務に係る実務経験年数の上限を 1 か月と算定。

- ・ 1 行の実務経験年数が 1 年を超過、または 1 ヶ月未満の場合。
 - ・ 1 行に複数の実務経験をまとめて記載している場合。
- （※特に直営業務等においては、1 行につき 1 つの実務経験を記載するよう注意し、1 行に複数の実務経験をまとめて記載しないでください。）

※実務経験証明書の記入に際して必ずご確認ください。

審査基準表

審査項目	評価※	具体的な審査事項
A) 当該部門の実務経験かどうか	×	<p>・ <u>他部門の実務経験と判断される場合、また当該部門の実務経験と判断することが困難な場合、評価しない</u></p> <p>なお、積算のみの業務については、「施工計画、施工設備及び積算部門」の業務とみなすものとする。</p>
	×	<p>・ 測量業務、地質調査業務、補償コンサルタント業務、建築設計業務など <u>建設コンサルタント業務以外の業務の場合、評価しない</u></p>
B) 高度な技術的内容を含むかどうか	×	<p>・ <u>単純な作業、補助的な作業、事務的な業務の場合、評価しない</u></p> <p>(例) 水位計測など観測業務 設計を伴わない図面の作成等 資料やデータの収集・整理 行政等へ提出する申請書類の作成</p>
	×～△	<p>・ <u>業務の対象の施設・構造物等の規模が小さい場合や検討・解析を要しない調査のみ等の場合、業務の内容に応じ、評価しない、または低減して評価する</u></p> <p>(例)</p> <p>[河川、砂防及び海岸・海洋部門] 普通河川 (△) 河川に係る施設・砂防施設・海岸保全施設・海岸構造物における施設の一部のみの設計・施工管理 (×)</p> <p>[港湾及び空港部門] 浚渫・埋立等における工事の施工のみ (×)</p> <p>[道路部門] 1車線相当の道路 (△) 工場内道路、農道、林道、鉄道の側道、自然歩道、公園内道路、空港誘導路、臨港道路、団地内道路 (△) 簡易な道路構造物 (△)</p> <p>[上水道及び工業用水道部門] 公園、事業所、遊園地内の水道の計画・設計・施工管理 (×)</p> <p>[下水道部門] 工場、公園、ゴルフ場の排水、団地内排水、工場の排水処理 (×)</p>

		<p>[水産土木部門] 漁港整備における工事の施工のみ浚渫・埋立計画における工事の施工のみ (×)</p> <p>[造園部門] 小規模な個人庭園の計画・調査・設計・施工・維持管理 (×) 門扉や駐車場等の構造物が中心の外構工事の設計・施工・維持管理 (×) 除草、樹木伐採のみの作業・維持管理 (×)</p> <p>[都市計画及び地方計画部門] 小規模な宅地開発計画の策定 (△) 小規模な公園設計 (△)</p> <p>[土質及び基礎部門] 単なるボーリング調査、単純な試験のみの調査 (×)</p> <p>[鋼構造及びコンクリート部門] 検討・解析を要しない重力式・もたれ式等の簡易な擁壁の設計 (△)</p> <p>[施工計画、施工設備及び積算部門] 品質管理、出来高管理のみ (×)</p>
C) 記載内容の具体性	×	<ul style="list-style-type: none"> ・「業務の内容」欄の記載内容が不足している場合（例えば、業務の諸元や立場の記載がない）、または記載内容が抽象的である場合など、技術的な観点からの評価ができない場合、評価しない
D) 専ら従事した業務かどうか	△	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の規模や契約金額と比較して実務経験年数が長く、その期間の全てを専らその業務に従事していたとは考えにくい場合、低減して評価する
E) 記載不備等	×	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの業務（1行）の実務経験年数が1年を超過している場合、または1ヶ月未満の場合評価しない (特に公務員・団体職員の経歴を申請される方)
	×	<ul style="list-style-type: none"> ・1行に複数の実務経験をまとめて記載している場合、評価しない (特に公務員・団体職員の経歴を申請される方)

※「×」：評価しない、「△」：低減して評価（申請された実務経験年数を半減して評価）

8. 申請書類の提出先・問い合わせ先

(1) 申請書類の提出先

申請書類については、申請者の主たる営業所が所在する都道府県を管轄区域とする国土交通省各地方整備局等（以下表）にご提出ください。

表 申請書類の提出先

部課名	所在地	所管区域
北海道開発局 事業振興部 建設産業課	〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎 011(709)2311	北海道
東北地方整備局 建政部 建設産業課	〒980-8602 仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟 022(225)2171	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、 山形県、福島県
関東地方整備局 建政部 建設産業第二課	〒330-9724 さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館 048(601)3151	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、 千葉県、東京都、神奈川県、山梨 県、長野県
北陸地方整備局 建政部 計画・建設産業課	〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 025(280)8880	新潟県、富山県、石川県
中部地方整備局 建政部 建設産業課	〒460-8514 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館 052(687)8523	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿地方整備局 建政部 建設産業第二課	〒540-8586 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎 06(6942)1141	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、 兵庫県、奈良県、和歌山県
中国地方整備局 建政部 建設産業課	〒730-0013 広島市中区八丁堀2-15 082(221)9231	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、 山口県
四国地方整備局 建政部 計画・建設産業課	〒760-8554 高松市サンポート3-33 087(851)8061	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州地方整備局 建政部 建設産業課	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第2合同庁舎別館 092(471)6331	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、 大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課	〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館 098(866)0031	沖縄県

(2) 問い合わせ先

1) 「申請手続き」に関する問い合わせ

申請者の主たる営業所が所在する都道府県を管轄区域とする国土交通省各地方整備局等（上記表）にお問い合わせください。

2) 「別添4：実務経験証明書」に関する問い合わせ

国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課
専門工事業・建設関連業振興室 建設振興係 TEL：03(5253)8282（直通）

※公平を期すため、審査状況・審査過程・審査結果に関するお問い合わせには一切応じられません。また、申請前の事前審査にも応じられません。

記載例

1. 河川、砂防及び海岸・海洋部門

業務内容の記載が曖昧な
悪い事例

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー 〇〇河川砂防堤防整備設計業務 砂防堤防詳細設計1基 H=10m L=50m うち 工事用図面修正、数量算出、積算資料作成補助	〇〇〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 雪崩予防施設整備測量設計業務 うち 保安林解除協議図面作成補助	〇〇〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 〇〇川河川水辺の自然調査(魚類) 〇〇川 うち 魚類の同定作業補助、トラップの設置 N=7	〇〇〇〇	→業務の贈元が曖昧 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 〇〇川災害調査委託 〇〇水系二級河川〇〇川	〇〇〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇川測量設計委託 〇〇水系二級河川〇〇川 築堤詳細設計 L=200m、現況河道の流下能力検討(河川断面数22) うち、水位解析、施工計画、図面作成一式	〇〇〇〇	→業務内容が曖昧 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇海岸環境整備事業(〇〇海岸:海岸保全区域) 海岸補強工事 L=240m、階段式コンクリート護岸	〇〇〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇川護岸測量設計委託 〇〇水系普通河川〇〇川 詳細設計(両岸 計L=60 H=5m)、ブロック配置計画、各種施設設計	〇〇〇〇	→業務内容が曖昧 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇〇設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇川浸水想定区域図作成検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 不定流計算、氾濫計算、浸水想定区域図作成、浸水イメージ図作成、関係自治体協議 ・(株)〇〇設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム維持管理計画検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 アーチ式ダム H=72m、CoV=13万m3 管理計画の技術的指導、助言	〇〇〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容が曖昧 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な
良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー 堤防技術 〇〇河川砂防堤防整備設計業務 砂防堤防詳細設計1基 H=10m L=50m うち 工事用図面修正、数量算出、積算資料作成補助	〇〇県〇〇市役所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 雪崩予防施設整備測量設計業務 (〇〇地区) うち 保安林解除協議図面作成補助 対象区域A=7000㎡	〇〇県〇〇局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 〇〇川河川水辺の自然調査(魚類) 〇〇水系一級河川〇〇川 うち 魚類の同定作業補助、トラップの設置 N=7	〇〇河川国道事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 〇〇川災害調査委託 〇〇水系二級河川〇〇川 うち、 河川災害査定に係る現地調査、浸水状況調査20箇所、協議資料作成	〇〇県〇〇局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇川測量設計委託 〇〇水系二級河川〇〇川 築堤詳細設計 L=200m、現況河道の流下能力検討(河川断面数22) うち、 一次元不定流計算による水位解析、河道掘削段施工計画、護岸基本図作成	〇〇県〇〇課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇海岸環境整備事業(〇〇海岸:海岸保全区域) 海岸補強工事 L=240m、階段式コンクリート護岸 施工工程管理、出稼管理、出稼衛生	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇川護岸測量設計委託 〇〇水系普通河川〇〇川 連続ブロック築堤詳細設計(両岸 計L=60 H=5m)、カワヤシ並木ブロック配置計画、川面幅調節部歩道設計、スロープ1カ所	〇〇県〇〇市役所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇川浸水想定区域図作成検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 一次元不定流計算(氾濫水理を考慮)、二次元氾濫計算、浸水想定区域図作成、浸水イメージ図作成、関係自治体協議	〇〇河川事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム維持管理計画検討業務 〇〇水系一級河川〇〇川 アーチ式ダム H=72m、CoV=13万m3 ダムの維持管理計画(貯水池の調査計画、洪水対策の検討)の技術的指導、助言	〇〇機構	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

2. 港湾及び空港部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称 契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 地方港湾〇〇港湾補修事業に伴う設計業務 防波水門 B=12m×2 H=6m、陸開3箇所 B=6~24m H=2.5m うち 防波水門補修・復旧設計(施工工程検討、図面作成、数量計 算)	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 地方港湾〇〇海岸保全施設整備事業に伴う設計業務 うち 公有水面埋立事前申請書作成一式	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 地方空港〇〇空港整備交付金事業に伴う設計業務 旅客ターミナル A=3400㎡、スポット増設、停留所移設 うち 搭乗橋2基増設設計(現地調査、図面作成、数量計算)	→業務の贈元が曖昧 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇海岸基本設計業務 漁港外海岸整備 L=230m	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 第二種漁港〇〇漁港地域水産物供給基盤事業に伴う設計 対象地区面 積A=1500㎡、3施設 床面積計A=930㎡、エプロン、荷揚げクレーン2基 うち 物揚場設計、施設設計	→業務内容が曖昧 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇港湾浚渫工事 対象面積A=3800㎡ 計画水深D=15m 浚渫土量 V=2100㎡、ポンプ船浚渫	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営〇〇海浜公園保全施設整備事業 護岸延長L=230m 対策工設計、防災浮橋設計	→業務内容が曖昧 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 高潮対策事業〇〇地区設計業務 ケーン式高潮防波堤L=970m 平均 敷設水深D=23m 開口部水路幅W=80m 基本設計、付帯施設設計、報告書作成の照査 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇空港需要予測検討業務 旅客数200万人/年 貨物取扱い量10万ト ン/年 発着回数5万回/年 各種計画の効率化・最適化検討、技術提案に関する各技術的指導	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容が曖昧 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)		
証明	上記のとおり実務経験を有することを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領

- 「業務」を詳細に記載すること。
- RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について記載すること。

23

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称 契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現場技術 地方港湾〇〇港湾補修事業に伴う設計業務 防波水門 B=12m×2 H=6m、陸開3箇所 B=6~24m H=2.5m うち 防波水門補修・復旧設計(施工工程検討、図面作成、数量計 算)	(株)〇〇センター 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 地方港湾〇〇海岸保全施設整備事業に伴う設計業務 埋立計画面積 A=5,710㎡ 平均水深D=17m うち 公有水面埋立事前申請書作成一式	〇〇県〇〇港湾局 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 地方空港〇〇空港整備交付金事業に伴う設計業務 旅客ターミナル2 棟建て増設延べA=3400㎡、スポット増設2箇所、ターミナル前道路延べ E停留所移設2箇所 うち 搭乗橋2基増設設計(現地調査、図面作成、数量計算)	〇〇県航空政策局 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇海岸基本設計業務 漁港外海岸整備 L=230m うち 防波水門基本設計(護岸法設計、天端高設計) 測量立 会、地質調査ボーリング立会	(株)〇〇 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 第二種漁港〇〇漁港地域水産物供給基盤事業に伴う設計 対象地区面 積A=1500㎡、3施設 床面積計A=930㎡、エプロン、荷揚げクレーン2基 うち 物揚場設計、施設配置計画、施設設計、護岸の永続性及び変 動状態の安定性等の照査 、施設設計	〇〇県〇〇市 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇港湾浚渫工事 対象面積A=3800㎡ 計画水深D=15m 浚渫土量 V=2100㎡、ポンプ船浚渫 現場監理(施工工程管理、ソナーによる出来高確認)	〇〇局〇〇管理局 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営〇〇海浜公園保全施設整備事業 護岸延長L=230m 護岸保全対策、耐震検討および対策工設計、防災浮橋構設計、(設計遊 歩道、敷設水深、工法の比較検討)	〇〇県〇〇局 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 高潮対策事業〇〇地区設計業務 ケーン式高潮防波堤L=970m 平均 敷設水深D=23m 開口部水路幅W=80m 基本設計、 (設計計画、土質資料解析、永続性及び変動状態の安定性 等の照査) 、細部設計(付帯施設設計)、報告書作成の照査	〇〇県〇〇港湾管理事務 所 〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇空港需要予測検討業務 旅客数200万人/年 貨物取扱い量10万ト ン/年 発着回数5万回/年 需要予測調査及びそれに伴う経路計画効率化、最適化の検討、技術提 案に関する各技術的指導	〇〇県〇〇空港振興局 〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)		
証明	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領

- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
- RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について記載すること。

3. 電力土木部門

(第1別添)

業務内容の記載が曖昧な悪い事例

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇原発第3号機建設事業(第II期) 加圧水型軽水炉、80万kW、基盤整備 うち 切土基盤整備工事監理支援、土砂搬出入岸壁建設工事監理支援		→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇発電所第4号機設計業務 うち 建設予定箇所現地踏査、地盤調査、地質定数算定		→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇町風力発電施設適地検討業務 観測施設 うち 観測施設設置工事立会、風況観測およびデータ収集ととりまとめ		→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇第二発電所復水器更新に伴う環境影響評価検討業務 地熱発電P=3万kw		→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区小水力発電計画策定業務 流れ込み式下掛け発電施設基本設計 P=200kw、H=5m、Q=0.5m³/s うち 各種計算、算定一式		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇ガス〇〇製造所発電施設第III期設計業務 ランケン方式冷熱発電、出力6000kw、変電・送電施設、管理棟増床		→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇線設計業務 15.47V、L=3.5km 鉄塔19基(うち環境調和型鉄塔7基計1.3km) 設計、解析、計画策定		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇ダム点検診断業務 多目的重力式ダム H=95m 有効貯水容量V=8460万m³、発電出力4000kw 堤体、扉体、放流施設、水圧鉄管の診断及び検討 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇工場発電用発電基礎調査 可燃塵芥使用発電 うち 事例調査対象の選択、出力および熱量の概算、コスト計算の各技術的助言		→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				
証 明	上記のとおり実務経験を有することを証明する。	平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	との関係 (証明を得ることができないときはその理由)	

このような記載の場合
は経歴として評価されない、
または低減して評価されることがあります！

- 記載要領
- 「業務」を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事したことを記載すること。

用紙A4)

業務内容の記載が明確な良い事例

青字は「悪い事例」との違い

(第1別添)

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現場技術 〇〇原発第3号機建設事業(第II期) 加圧水型軽水炉、80万kW、基盤整備 うち 切土基盤整備工事監理支援、土砂搬出入岸壁建設工事監理支援	(株)〇〇組	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇発電所第4号機設計業務 ガス炉コンバインドサイクル、31万kw うち 建設予定箇所現地踏査、地盤調査、地質定数算定	〇〇電力(株)	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇町風力発電施設適地検討業務 風況観測施設設置 うち 観測施設設置工事立会、風況観測およびデータ収集ととりまとめ	〇〇県〇〇町	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇第二発電所復水器更新に伴う環境影響評価検討業務 地熱発電P=3万kw うち、限り動植物(特定重要種)の分布調査=3km²、冷却排水処理基	(株)〇〇調査	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区小水力発電計画策定業務 流れ込み式下掛け発電施設基本設計 P=200kw、H=5m、Q=0.5m³/s うち 電力計算、新設工事費算定	〇〇市産業振興課	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇ガス〇〇製造所発電施設第III期設計業務 ランケン方式冷熱発電、出力6000kw、変電・送電施設、管理棟増床 施設基礎整備工施工管理、出来形品質管理、現場安全管理	(株)〇〇ガス	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇線設計業務 15.47V、L=3.5km 鉄塔19基(うち環境調和型鉄塔7基計1.3km) 鉄塔基礎設計、構造設計および解析、施工計画策定	〇〇電力(株)〇〇事業所	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇ダム点検診断業務 多目的重力式ダム H=95m 有効貯水容量V=8460万m³、発電出力4000kw 堤体、扉体、放流施設、水圧鉄管の 劣化診断及び長寿命化の検討	〇〇公団	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇工場発電用発電基礎調査 可燃塵芥使用発電 うち 事例調査対象の選択、 電力および必要可燃物量の概算、LCC計算 の各技術的助言	〇〇市環境整備企業局	〇〇, 〇〇〇	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				
証 明	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。	平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	との関係 (証明を得ることができないときはその理由)	

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又はを詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事したことを記載すること。

4. 道路部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇跨道橋詳細設計業務(3種3級、W=18m) うち 部材数量算出、詳細設計図面作成、積算資料作成	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇町内道路標識変更調査設計業務(4種4級) うち 道路標識設置位置確認作業、視認性確認	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 県道〇〇号〇〇交差点交通量調査(主要地方道) うち 交通量調査(12時間) 00聞き取り調査100件	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 国道〇〇号〇〇バイパス詳細設計業務(3種3級、W=15m) 道路詳細設計 L=200m	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線〇〇交差点設計業務(3種1級、W=35m) 平面交差点詳細設計、道路横断面渠設計(地下歩道B=4.0m、H=2.0m) うち 各種設計、協議資料作成	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇地区砂防堰堤詳細設計業務 工事用道路(L=260m W=5m 待避所2カ所)	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 町道〇〇線道路概略設計(3種4級、W=10m) 代幹案比較検討、工事費算出、作業量検討	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市ITS導入検討業務 BRTシステム 施策による影響、効果の調査検討、コスト解析、バス事業における活用方法の検討、報告書照査 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県道〇〇号維持管理業務(3種5級 W=5m) 道路舗装点検(L=200m) 路面性状の評価方法指導	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容が不明 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇跨道橋詳細設計業務(3種3級、W=18m) うち 部材数量算出、詳細設計図面作成、積算資料作成	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇町内道路標識変更調査設計業務(4種4級) うち 道路標識設置位置確認作業、視認性確認	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 県道〇〇号〇〇交差点交通量調査(4種3級 W=10m) うち 交通量調査(12時間) 00聞き取り調査100件	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 国道〇〇号〇〇バイパス詳細設計業務(3種3級、W=15m) 道路詳細設計 L=200m <u>うち 組立構成検討、道路照明設置箇所の検討 N=10、ガードレール設計 L=200m</u>	〇〇国道事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線〇〇交差点設計業務(3種1級、W=35m) 平面交差点詳細設計、道路横断面渠設計(地下歩道B=4.0m、H=2.0m) うち <u>歩道とのすり付け部設計、現況設計、協議資料作成</u>	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇地区砂防堰堤詳細設計業務 工事用道路(L=260m W=5m 待避所2カ所) うち <u>施工監理、工程管理、出来形管理</u>	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 町道〇〇線道路概略設計(3種4級、W=10m) <u>L=1500m、概算工事費算出、切土盛土バランス検討、河川横断の方角</u>	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市ITS導入検討業務 BRTシステム ITS導入による影響、効果の調査検討、 <u>コスト</u> 解析、バス事業における活用方法の検討、報告書照査	〇〇市役所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県道〇〇号維持管理業務(3種5級 W=5m) 道路舗装点検(L=200m) <u>ひび割れ、わがち掘れ、縦断凹凸の評価方法指導</u>	〇〇県〇〇部	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

5. 鉄道部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇電鉄委託〇〇跨線橋基礎整備工事 L=330m、B=33m 、8径間連続合成桁橋新設 うち 部材数量算出、積算資料作成	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇鉄道〇〇駅ホームドア設置工事 うち 設置位置確定測量、架台設置位置確定測量	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇電鉄〇〇線踏切設備台帳整理業務 各種踏切 うち 台帳記載内容の確認及び更新作業、現地踏査	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇川北幅工事に伴う〇〇橋付替設計業務 総延長L=345m W=3.3m (下路式単線ワレントラス)	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇国〇〇市〇〇モノレール第1期区間標準駅舎基礎設計業務 懸垂式、延長L=120m、高架3層構造、計8駅 うち 施設配置設計、旅客導線検討	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇新幹線〇〇保線区〇〇トンネル保線作業 電車線およびトロリ軌置換、L=8000m	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇車両工場改修詳細設計業務 積装作業線L=220m A=3000m ² 代替施設配置検討、更新設備の配置検討	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	- (株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄デジタルATC導入計画およびCTC設備検討業務 費用対効果の検討、既存システムとの整合・競合現地確認、各種機器設置箇所比較検討 - (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇鉄道〇〇線乗入れに伴う運行計画基礎検討業務 うち 情報伝達手法検討、運転手研修内容の検討の各技術支援	→業務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することを証明する。 平成〇年〇月〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係		

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

(用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇電鉄委託〇〇跨線橋基礎整備工事 L=330m、B=33m 、8径間連続合成桁橋新設 うち 部材数量算出、積算資料作成	〇〇電鉄ホールディングス(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇鉄道〇〇駅ホームドア設置工事 <u>L=210m×4箇所</u> うち 設置位置確定測量、架台設置位置確定測量	〇〇鉄道(株)〇〇事業所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇電鉄〇〇線踏切設備台帳整理業務 踏切 <u>1箇所(うち橋内踏切4箇所)</u> うち 台帳記載内容の確認及び更新作業、現地踏査	(株)〇〇電鉄工務部	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇川北幅工事に伴う〇〇橋付替設計業務 総延長L=345m W=3.3m (下路式単線ワレントラス) うち <u>河川橋脚資料作成</u>	(独)〇〇公団	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇国〇〇市〇〇モノレール第1期区間標準駅舎基礎設計業務 懸垂式、延長L=120m、高架3層構造、計8駅 うち <u>ホーム及び改札口の施設配置設計、旅客導線検討</u>	(独)〇〇機構	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇新幹線〇〇保線区〇〇トンネル保線作業 電車線およびトロリ軌置換、L=8000m うち <u>現場安全確認、軌道管理者との連絡調整</u>	〇〇(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇車両工場改修詳細設計業務 積装作業線L=220m A=3000m ² 代替留置線の配置検討、更新設備 <u>(天北クレーン、床下車輪駆動装置設置)</u> の配置検討	〇〇旅客鉄道(株)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄デジタルATC導入計画およびCTC設備検討業務 費用対効果の検討、既存システムとの整合・競合現地確認、 <u>各種機器設置箇所比較検討</u>	〇〇信号(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇鉄道〇〇線乗入れに伴う運行計画基礎検討業務 うち <u>運行経路の情報伝達手法検討、運転手研修内容の検討の各技術支援</u>	〇〇線相互直通事業コンソーシアム	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成〇年〇月〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明者)		

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

6. 上水道及び工業用水道部門

(第1号
別添4)

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 課長 〇〇団地内配水管増設工事および修正設計委託 総延長=300m グラ タイル鈔鉄管φ250mm うち 配水管布設設計、施工(推進工法)数量算出、出来高管理	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇台1丁目配水管更新工事設計業務 うち 布設計画図作成、道路占用許可申請書作成、周辺住民への工事 案内パンフレット作成	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇川水道水利用許可更新申請書作成業務 水利権 うち 水利使用許可更新申請の水利計算(河床変動を考慮した1次 元不等流)のための河床材料調査、結果とりまとめ	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係長 補助担当者 〇〇工業用水節水計画 受益者89企業、最大供給量V=11820m ³	→業務のうち実際に担当した内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇工業用水仮送水管路測量設計業務委託 路線測量L=4.1km、φ 600mm×2 L=1100m うち 代替案検討、各種算出、資料作成一式 該当部報告書執筆	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 現場代理人 〇〇浄水場工事 RC造沈砂池430m ³ RC造急流濾過池500m ³ RC造沈 砂池8000m ³ 送水ポンプ55kw×3台 消毒設備、RC造管理棟	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇配水池改修工事設計業務委託 A=5200m ² V=6000m ³ ×2池 管路現況調査と改修設計、各種施設設計、耐震解析・設計、非常用機 器の耐震補強設計と移設設計、施設耐震化検討	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇地区簡易水道施設維持修繕計画策定業務 供給面積A=15ha 給水人口450人 総延長L=80km 送水ポンプ30kw×2台 マニュアル作成、将来計画、効果分析 1式	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 副社長 技術統括 水管橋(〇〇橋)耐震補修計画業務 3径間トラスL=120m、管φ 700mm、現地調査、耐震・補修各詳細設計、管接続部可換化、管理計 画策定 うち これらに関する技術的指導、助言、代替案の提案	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指 導・助言を行ったのが具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に關し、その名称又は
内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

(第1号
別添4)

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

用紙A4)

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 課長 現場技術 〇〇団地内配水管増設工事および修正設計委託 総延長=300m グラ タイル鈔鉄管φ250mm うち 配水管布設設計、施工(推進工法)数量算出、出来高管理	〇〇(株)	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇台1丁目配水管更新工事設計業務 φ200mm 合計L=480m うち 布設計画図作成、道路占用許可申請書作成、周辺住民への工事 案内パンフレット作成	(株)〇〇不動産	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇川水道水利用許可更新申請書作成業務 水利権 V=0.603m³/秒× 5年、最大取水水量V=51500m³ うち 水利使用許可更新申請の水利計算(河床変動を考慮した1次 元不等流)のための河床材料調査4回、結果とりまとめ	〇〇市水道局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係長 補助担当者 〇〇工業用水節水計画 受益者89企業、最大供給量V=11820m ³ うち 直近20ヶ年間に於ける取水河川流量と取水量の相関調査、全 受益者に対する過去の水利利用実態調査(アンケートとトリアリング)	〇〇県〇〇水道企業団	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇工業用水仮送水管路測量設計業務委託 路線測量L=4.1km、φ 600mm×2 L=1100m うち 道路仮設方法代替案検討、事業費算出、発注者協議・住民説 明の資料作成およびその実施 該当部報告書執筆	〇〇水道企業団	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 現場代理人 〇〇浄水場工事 RC造沈砂池430m ³ RC造急流濾過池500m ³ RC造沈 砂池8000m ³ 送水ポンプ55kw×3台 消毒設備、RC造管理棟 うち 現場監理一式(基盤および外構工事を除く)	〇〇県〇〇水道局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇配水池改修工事設計業務委託 A=5200m ² V=6000m ³ ×2池 配水池敷地内の管路現況調査と改修設計、中継ポンプおよび上層設 計、配水池耐震解析・設計、非常用発電機架台の耐震補強設計と許 容タンク移設設計、高圧受電施設耐震化検討	〇〇市〇〇水道部	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇地区簡易水道施設維持修繕計画策定業務 供給面積A=15ha 給水人口450人 総延長L=80km 送水ポンプ30kw×2台 当該マニュアル作成、将来計画、費用・便益分析 1式	〇〇市〇〇農村振興課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 副社長 技術統括 水管橋(〇〇橋)耐震補修計画業務 3径間トラスL=120m、管φ 700mm、現地調査 (検測部試験調査2回併し)、上部工耐震・上部工補 修各詳細設計、管接続部可換化、維持管理計画策定 うち これらに関する技術的指導、助言、代替案の提案	〇〇県〇〇市〇〇課	〇〇,〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に關し、その名称又は
内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

7. 下水道部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1
別添)

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇市〇〇町地下下水道協議面作成業務 うち 協議面作成、協議実施(説明者)		→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区下水道管渠改築実施設計業務委託 うち 現況調査(管渠内踏査L=3,410m)、点検マニュアル作成		→業務の踏元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇市内汚水管渠布設実施設計測量業務委託 L=140m D≦200mm うち 路線測量L=190m、地質調査、試験場		→業務の踏元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 公共下水道〇〇地区整備事業 縦坑N=6箇所 H=6.0m、小口径管泥水 式推進工法L=500m φ300mm		→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 公共下水道(〇〇工区)施工管理業務 開削L=795m □600×400mm、 簡易推進L=450m φ800mm うち 施工計画および計画図作成		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇県東部流域下水道幹線更生工事 総L=3100m φ1200mm、形成工 法		→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 公共下水道(〇〇処理分区)汚水管渠実施設計業務委託 小口径推進 工法φ300~250mm L=325m 土質調査、地下探査、工法詳細検討		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇町地区下水道施設 開削L=400m 推進L=300m 復旧設計、マンホール復旧(N=123) 検討		→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇市〇〇漁業集落排水処理施設改修工事実施設計業務 開削L=400m 排水処理施設N=2基 実施設計(詳細設計) 指導、技術的助言		→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1
別添)

(用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

		認定対象者の氏名		〇〇 〇〇	
期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇市〇〇町地下下水道協議面作成業務 うち 協議面作成、協議実施(説明者)	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区下水道管渠改築実施設計業務委託 <u>総延長L=3,410m (φ200 ~φ700mm) 簡易推進L=450m</u> うち 現況調査(管渠内踏査L=3,410m)、点検マニュアル作成	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇市内汚水管渠布設実施設計測量業務委託 開削工法L=140m 推進 工法L=50m 各D≦200mm うち 路線測量L=190m、地質調査1箇所、試験場3箇所	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 公共下水道〇〇地区整備事業 縦坑N=6箇所 H=6.0m、小口径管泥水 式推進工法L=500m φ300mm うち <u>土留工検討(簡易土留め)H=2.0m、管路勾配検討</u>	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 公共下水道(〇〇工区)施工管理業務 開削L=795m □600×400mm、 簡易推進L=450m φ800mm うち <u>汚水管渠施工計画および計画図作成</u>	〇〇県〇〇建設センター	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇県東部流域下水道幹線更生工事 総L=3100m φ1200mm、形成工 法 <u>現場管理、工務管理、住居対応(説明会を含む)</u>	〇〇(株)	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 公共下水道(〇〇処理分区)汚水管渠実施設計業務委託 小口径推進 工法φ300~250mm L=325m 土質調査1箇所、地下埋レーザ探査 <u>計L=70m</u> 、工法詳細検討	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇市〇〇町地区下水道施設 開削工法(Δ1200mm未満)L=400m 推 進工法(小口径φ300mm)J=300m <u>協議実施復旧設計、マンホール復旧(N=123) 検討</u>	社団法人〇〇建設セ ンター 〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇市〇〇漁業集落排水処理施設改修工事実施設計業務 開削工法(φ1200mm未満)L=400m 排水処理施設(合併浄化槽) N=2基 下水道実施設計(詳細設計) 指導、技術的助言	〇〇県〇〇市下水道管理 課	〇〇, 〇〇〇	
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)				

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

8. 農業土木部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

天 務 任 職 証 明 書

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇地区農道舗装実施設計業務 巾員B=4.0m、延長L=8km (大型車交通量15台以上、40台未満/日・方向) 農道舗装設計のうち 協議図面作成、協議実施 (説明者)	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区 広域農道整備事業単価契約図面作成業務委託 うち 分水工設計図面修正作業、資料収集	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 係長 作業員 農村振興総合整備事業〇〇地区 集落道、取水施設 うち 取水施設の設計に関わる①構造計算書諸元入力、②図面作成	〇〇 〇〇	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事務所 管理部 技師 補助技術者 〇〇揚水機場実施設計業務 〇〇川の低水路液添による推移低下に伴う改築検討を目的とした揚水機場 (Q=1.25m ³ /s×1 φ700mm)	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇ダム耐震化検討業務 ロックフィル式多目的ダム (H=32m 有効貯水量594万m ³ うち灌漑水利320万m ³) 耐震化工事実施設計のうち ゲートの耐震設計と設計図作成、ゲート駆動アクチュエータ耐震検討、機器免震化検討	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県営中山間地域農村活性化総合整備事業うち〇〇地区〇〇水路改築事業 用水路=1.5km (〇〇水路 計画用水量 Q=0.0328m ³ 〇〇水路 計画用水量 Q=0.115m ³)	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営かんがい排水事業〇〇地区 管水路L=12km、自然圧幹線パイプFRPMφ1300mm 土質調査、地下探査、工法比較・詳細検討	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇地区圃場整備測量設計業務 面積A=1.8ha、用水路L=100m、地盤調査N=2箇所 圃場整備設計、用水路設計 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県営経営体育成基盤整備事業〇〇地区 区画整理 (130ha) 区画整理実施設計 指導、技術的助言	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証 明 欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現場技術 〇〇地区農道舗装実施設計業務 巾員B=4.0m、延長L=8km (大型車交通量15台以上、40台未満/日・方向) 農道舗装設計のうち 協議図面作成、協議実施 (説明者)	〇〇県〇〇振興局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区 広域農道整備事業単価契約図面作成業務委託 分水工(分水) うち 分水工設計図面修正作業、資料収集	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	〇×(株) 技術部 係長 作業員 農村振興総合整備事業〇〇地区 集落道 (幅=4.0m、L=300m)、取水施設 (〇〇池、増長50m、自然積立式排水) うち 取水施設の設計に関わる①構造計算書諸元入力、②図面作成	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事務所 管理部 技師 補助技術者 〇〇揚水機場実施設計業務 〇〇川の低水路液添による推移低下に伴う改築検討を目的とした揚水機場 (Q=1.25m ³ /s×1 φ700mm) ふた、空箱設計図書作成、現地踏査、ポンプ設備確認、検査立案	〇〇市役所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇ダム耐震化検討業務 ロックフィル式多目的ダム (H=32m 有効貯水量594万m ³ うち灌漑水利320万m ³) 耐震化工事実施設計のうち 常用排水吐き ゲートの耐震設計と設計図作成、ゲート駆動アクチュエータ耐震検討、 操作室内機器免震化検討	〇〇(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県営中山間地域農村活性化総合整備事業うち〇〇地区〇〇水路改築事業 用水路=1.5km (〇〇水路 計画用水量 Q=0.0328m ³ 〇〇水路 計画用水量 Q=0.115m ³) HP/レンジャー工事監理、住居付代(特開金ふ含付)	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 県営かんがい排水事業〇〇地区 管水路L=12km、自然圧幹線パイプFRPMφ1300mm 土質調査、地下探査、工法比較・詳細検討	〇〇県〇〇振興局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇地区圃場整備測量設計業務 面積A=1.8ha、用水路L=100m、 地盤 調査N=2箇所 圃場整備設計、用水路設計	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 県営経営体育成基盤整備事業〇〇地区 区画整理 (130ha) 区画整理実施設計 (詳細設計) 指導、技術的助言	〇〇地区区画整理事業協同組合	〇〇, 〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証 明 欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男			

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

9. 森林土木部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主任 〇〇地区緊急治山事業 コンクリート谷止工3基 V=1840m ³ H=10m L=40、スリットダム1基 W=27t H=8m L=40m 治山ダム工事 うち 協議図面作成、協議実施(説明者)	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇課 研修社員 補助作業員 治山事業測量調査委託 うち 治山台帳等確認、施設位置確認・写真撮影	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 〇〇係技師 作業員 森林経営計画策定業務 〇〇県県有林、県行造林の森林経営計画策定、造林及び保存の実施計画 うち 伐採、伐木量清算資料作成	〇〇 〇〇	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 係長 補助技術者 治山(復旧) 〇〇地区〇〇沢事業 山腹工0.04ha、土留工(フロン 電)1基L19m H=2.0m 腐食性マット190m ² 、植栽工(コナラ)100本 山腹工の計画設計及び施工監理	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 係長 担当技術者 林道開設事業 〇〇線〇〇区測量・設計業務 1車線林道(1級) L=570m、W=5.0m うち 林道設計	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主査 現場代理人 〇〇営林事務所基礎工事 A=3.2ha 法面A=3200m ² 、軽量盛土、グラウ ンドアンカー工、周囲排水路工	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇営業所 営業所長 管理技術者 〇〇治山事業全体計画調査業務 全体計画調査730ha 治山計画策定	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 代表取締役社長 照査技術者 災害関連緊急治山委託(〇〇市〇〇町) 治山ダム(堤長80m 堤高 14m) 治山解析、治山ダム構造の4案比較検討	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 技術顧問 技術統括 自然災害防止事業〇〇地区測量設計業務 土留工L=150m、幅工H=4.5m L=85.0m、網工A=1140m ² 構造計算、図面作成 指導、技術的助言	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明事項	上記のとおり実務経験を 平成〇年〇月〇日	との関係		

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務」を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主任 現地統括 〇〇地区緊急治山事業 コンクリート谷止工3基 V=1840m ³ H=10m L=40、スリットダム1基 W=27t H=8m L=40m 治山ダム工事 うち 協議図面作成、協議実施(説明者)	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇課 研修社員 補助作業員 治山事業測量調査委託 治山施設の現況状況の調査並びに今後の保守 点検計画のための基礎資料作成、治山施設点検15箇所(深開工80箇 所、山腹工3箇所) うち 治山台帳等確認、施設位置確認・写真撮影	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 〇〇係技師 作業員 森林経営計画策定業務 〇〇県県有林、県行造林(3200ha)の森林経 営計画策定、造林及び保存の実施計画 うち 伐採(主体間伐)、伐木量清算資料作成	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇部 係長 補助技術者 治山(復旧) 〇〇地区〇〇沢事業 山腹工0.04ha、土留工(フロン 電)1基L19m H=2.0m 腐食性マット190m ² 、植栽工(コナラ)100本 山腹工の計画設計及び施工監理 のうち、年間降雨量資料収集、流出 土量算定式作成	〇〇技術協会	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 係長 担当技術者 林道開設事業 〇〇線〇〇区測量・設計業務 1車線林道(1級) L=570m、W=5.0m うち 林道設計(敷設、舗装、交通安全施設の各設計)	〇〇県〇〇町	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 技術部 主査 現場代理人 〇〇営林事務所基礎工事 A=3.2ha 法面A=3200m ² 、軽量盛土、グラウ ンドアンカー工、周囲排水路工 施工監理、出水部管理	〇〇センター	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 〇〇営業所 営業所長 管理技術者 〇〇治山事業全体計画調査業務 全体計画調査730ha 国有林治山事業全体計画作成等に基づく治山計画策定(深開整備、土 砂流出抑制施設、林道免状)	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 代表取締役社長 照査技術者 災害関連緊急治山委託(〇〇市〇〇町) 治山ダム(鋼板堰体ウエー ル工法 堤長80m 堤高14m) 治山解析(調査資料の解析、地質断面図の作成)、治山ダム構造の4 案比較検討	〇〇局〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計課 技術顧問 技術統括 自然災害防止事業〇〇地区測量設計業務 土留工(カゴ鉄)L=150m、 流石防護 幅工H=4.5m L=85.0m、 流石防護 網工A=1140m ² 構造計算、 図面作成 指導、技術的助言	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明事項	上記のとおり実務経験を有することに相違ない ことを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		
証明者	(株)〇〇設計 代表取締役 〇田〇男			

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

10. 水産土木部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1
別添)

天 務 任 職 証 明 書

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇漁港第7波除堤設計委託業務 波除堤L=40m H=8~12m 直立消波ブロック式混成堤基本・実施設計 うち 数量算出 施工工程検討 積算補助	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇漁港広域漁港整備事業計画変更委託業務 うち 受益者アンケート調査、結果の整理	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇漁港航路標識調査設計委託業務 標識増設の実設計、既存標識維持管理計画策定 うち 航路標識の事例調査と結果整理、既存標識の現状調査	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇漁港係留施設台帳作成委託業務	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇漁港交流センター事業計画書作成委託業務 うち 調査・結果整理一式、各種算出 効果分析	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇地区広域漁港製氷工場整備工事 製氷工場 A=320m ²	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇漁港船揚場改良設計業務 船揚場改良L=10m 各種船揚場改良設計一式	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇漁港津波対策詳細設計業務 防護施設実施設計L=275m 安全性照査、陸開設計N=3 W=6~16m、津波避難タワーH=6m A=330m ² 、各設計照査 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇漁港ストックマネジメント費用対効果分析業務 効果分析、周辺水域の高度利用と水産物の安定供給への貢献度合いの検証方法指導	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのが具体的に記載してください	〇〇 〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証 明 欄	上記のとおり実務経験を有することを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1
別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現地技術</u> 〇〇漁港第7波除堤設計委託業務 波除堤L=40m H=8~12m 直立消波ブロック式混成堤基本・実施設計 うち 数量算出 施工工程検討 積算補助	〇〇局〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇漁港広域漁港整備事業計画変更委託業務 うち 受益者アンケート調査 <u>N=235</u> 、結果の整理	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇漁港航路標識調査設計委託業務 <u>航路標識増設7基の実設計</u> 、既存 <u>浮体式</u> 標識維持管理計画策定 うち 航路標識の事例調査と結果整理、既存 <u>浮体式</u> 標識の現状調査	〇〇県〇〇部〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇漁港係留施設台帳作成委託業務 うち <u>現地調査(登録船、不法係留船、廃棄船、不法設置残存漁網)</u> 、 <u>既存台帳からの記載内容移し替え、右側通書作成</u>	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇漁港交流センター事業計画書作成委託業務 うち <u>アンケート調査・結果整理、事業規模及び工事量の算出</u> <u>費用対効果分析</u>	〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇地区広域漁港製氷工場整備工事 製氷工場 A=320m ² <u>現場監理</u> <u>出来形確認</u> <u>検査立会</u>	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇漁港船揚場改良設計業務 船揚場改良L=10m <u>プレキャスト設計</u> 、 <u>コンクリートブロック式護岸先端部増設改良</u> 、 <u>漁船揚場用L=10m設計</u>	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇漁港津波対策詳細設計業務 <u>漁港係留施設監視実施設計L=275m</u> <u>監視安全性照査</u> 、 <u>陸開設計N=3</u> W=6~16m、津波避難タワーH=6m A=330m ² 、各設計照査	〇〇(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇漁港ストックマネジメント費用対効果分析業務 <u>費用対効果分析(お祭り工費・便益算出)</u> 、 <u>周辺水域の高度利用と水産物の安定供給への貢献度合いの検証方法指導</u>	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証 明 欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

11. 廃棄物部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー ○最終埋立処分施設建設工事その2 処理水面積 210,000㎡、圍繞地延長L=1300m うち 圍繞地積算補助、出来高確認および清算、雨水排水設備の数量算出、積算補助	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○埋立処分現場現況調査業務 うち 処分場現況測量、空き容量の計算、搬入車両積載量現地簡易計測	→業務の精元が不明 施設の規模が把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○リサイクルプラザ利用拡大検討業務 処理能力 20t/8h/日 うち アンケート調査、リサイクル品目台帳電子化	→業務の精元があいまい 業務の規模が把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○最終処分場実施設計業務 処理容量 130,000㎡	→業務のうち実際に担当した内容が不明 担当した内容を記載してください	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○清掃工場自家発電施設基本計画策定業務 処理能力 120t/24h/日、300kwh うち 各種計算、施設設計、関連法整備状況確認、施設配置計画	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○リサイクルセンター管理棟建築工事 SRC3階建、延床面積A=1500㎡	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○震災塵芥処理施設運営PF1管理業務 処理能力 600t/8h/日 各種諸元の把握・整理、測定、燃料の調達、広報対応、汚染コンテナ封印確認	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○火力発電所フライアッシュ一時滞留場増設基本計画業務 増設容量2,000t 地盤改良計画策定、貯留管理策の検討、管理項目の設定 ・(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○地区事業系廃棄物処理に関する検討業務 うち 地形地質条件の設定、候補地の選定、処理方法の検討に関する各助言および技術的指導	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小計 (累計)	○年○月 (○年○月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に關し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー <u>再掘技術</u> ○最終埋立処分施設建設工事その2 処理水面積 210,000㎡、圍繞地延長L=1300m うち 圍繞地積算補助、出来高確認および清算、雨水排水設備の数量算出、積算補助	○ ○ 県公園・衛生局	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○埋立処分現場現況調査業務 <u>処理容量11,500㎡</u> うち 処分場現況測量、空き容量の計算、搬入車両積載量現地簡易計測	○ ○ 県○市	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○リサイクルプラザ利用拡大検討業務 処理能力 20t/8h/日 うち <u>リサイクルプラザ利用表</u> アンケート調査130人、リサイクル品目台帳電子化	(株)○ ○	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○最終処分場実施設計業務 処理容量 130,000㎡ うち <u>排水工実施設計、汚水処理施設設計</u>	○ ○ 県衛生保険局	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○清掃工場自家発電施設基本計画策定業務 処理能力 120t/24h/日、300kwh うち <u>再掘技術計算、空切配管設計、排ガス対応に關する法整備状況確認、排ガスフィルタ配管設計</u>	○ ○ 県○市	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○リサイクルセンター管理棟建築工事 SRC3階建、延床面積A=1500㎡ うち <u>施工管理、現場管理、工程管理</u>	○ ○ 県○市	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○震災塵芥処理施設運営PF1管理業務 処理能力 600t/8h/日 日当りの処理容量の把握・整理、放射線物質測定、 <u>最終燃料の調達、周辺住民への広報・対応、汚染コンテナ封印確認</u>	○ ○ 県○地区事業共同体	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○火力発電所フライアッシュ一時滞留場増設基本計画業務 増設容量2,000t <u>地盤改良計画策定の検討、環境管理項目の設定</u>	○ ○ 電力(株)	○ ○ , ○ ○ ○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○地区事業系廃棄物処理に関する検討業務 うち <u>放射線汚染物を知りしに当たり速した</u> 地形地質条件の設定、候補地の選定、 <u>放射レベルに応じた</u> 処理方法の検討に関する各助言および技術的指導	○ ○ 県○市	○ ○ , ○ ○ ○
小計 (累計)	○年○月 (○年○月)			

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に關し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に關する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

12. 造園部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 リーダー 〇〇児童遊園工事 児童遊園 (面積0.08ha) 多目的広場・公衆トイレ・植栽・園路工事、発注に伴う諸施設の実施設計補助、ワークショップ運営積算	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 整備部 研修社員 補助作業員 〇〇通り外15団地植物管理台帳等作成業務 台帳整理 うち 植物調査、管理樹票取り付け	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 造園部 社員 作業員 多目的広場改修工事 多目的芝生広場、多目的ホール、駐車場 うち 駐車場車止め撤去 (54台分減)、舗装打替え	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査・設計グループ 係長 補助技術者 〇〇地区里山環境整備検討業務 公園・緑地10箇所 (計7ha) 区画整理事業区の残置樹木の保全計画、大径木の移植及び表土保全計画、環境共生型設備の配置計画	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計グループ チーフ 担当技術者 〇〇団地内公園事業基本計画策定調査委託 公園・児童遊園・緑地14箇所 (計30ha)、公衆トイレ8箇所 公園利用実態の分析、公園整備・活用方策の検討 うち 調査計画策定、施設配置計画	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部 管理課長 現場代理人 〇〇地区公園工事 団地内公園 (面積1.0ha)、噴水 (100m ²)、芝生広場 (2300m ²)、パーゴラ (3基)、ウッドデッキ (200m ²)、樹林地 (2500m ²) など	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 マネージャー 管理技術者 〇〇海浜公園バリアフリー計画策定業務 供用区域140ha、情報の提供手法検討、マニュアルの作成、施設・イベント案内資料の作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部長 照査技術者 〇〇都市公園長寿命化計画策定業務委託 A=550ha、広場A=20ha、各種公園施設N=78、各種器具N=11、各種便益施設N=7、管理施設N=6 施設計画、施設設計、施工計画	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ホテル中庭日本庭園設計業務委託 A=1.2ha、庭園施設、植栽 各種指導、技術的助言	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明 欄	上記のとおり実務経験を 平成	との関係		

このような記載の
場合は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務」を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 リーダー <u>現場技術</u> 〇〇児童遊園工事 児童遊園 (面積0.08ha) 多目的広場・公衆トイレ・植栽・園路工事、発注に伴う諸施設の実施設計補助、ワークショップ運営積算	〇〇公団 〇〇支社	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 整備部 研修社員 補助作業員 〇〇通り外15団地植物管理台帳等作成業務 <u>A=345ha</u> 台帳整理 うち 植物調査 <u>(踏査)</u> 、管理樹票取り付け <u>(108本)</u>	〇〇県	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 造園部 社員 作業員 多目的広場改修工事 多目的芝生広場 <u>A=0.50ha</u> 、多目的ホール <u>A=230m²</u> 、駐車場 <u>A=1400m²</u> うち 駐車場車止め撤去 (54台分減)、舗装打替え	(財)〇〇研究センター	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査・設計グループ 係長 補助技術者 〇〇地区里山環境整備検討業務 公園・緑地10箇所 (計7ha) 区画整理事業区の残置樹木の保全計画、大径木の移植及び表土保全計画、環境共生型設備の配置計画 <u>うち 移植予定樹木リストの作成と移植計画策定</u>	〇〇県〇〇市	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計グループ チーフ 担当技術者 〇〇団地内公園事業基本計画策定調査委託 公園・児童遊園・緑地14箇所 (計30ha)、公衆トイレ8箇所 公園利用実態の分析、公園整備・活用方策の検討 うち <u>利用実態調査計画策定、児童遊園の配置および設備計画</u>	〇〇県地域振興局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部 管理課長 現場代理人 〇〇地区公園工事 団地内公園 (面積1.0ha)、噴水 (100m ²)、芝生広場 (2300m ²)、パーゴラ (3基)、ウッドデッキ (200m ²)、樹林地 (2500m ²) などの <u>施工監理、出来形確認</u>	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 調査設計部 マネージャー 管理技術者 〇〇海浜公園バリアフリー計画策定業務 供用区域140ha、 <u>サイン・植栽等の準備によるバリアフリー道路情報の提供手法検討、案内図等サインマニュアルの作成、サインと植栽施工施設・イベント案内資料の作成</u>	〇〇県〇〇村	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 設計部長 照査技術者 〇〇都市公園長寿命化計画策定業務委託 A=550ha、広場A=20ha、 <u>遊具施設N=75、休養施設N=3、健康促進器具N=11、便益施設 (トイレ、売店、車庫等) N=7、管理施設N=6</u> 施設計画、施設設計、施工計画	〇〇県〇〇事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ホテル中庭日本庭園設計業務委託 A=1.2ha、 <u>車庫N=2、本館橋N=1、園路184m、池N=2、A=0.32ha、植栽 (マツ、サクラ、ユナギ、ツツジほか)</u> 指導、技術的助言	〇〇観光ホテル (株)	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明 欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ない ことを証明する。 平成 〇年 〇月 〇日 証明者 (株)〇〇設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

13. 都市計画及び地方計画部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経歴証明書

(第1号別添4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主査 〇〇会館整備基礎資料作成業務 A=0.9ha 文化交流施設新築に係る基本計画作成、建設地選定に係る都市計画基礎調査、施設規模・内容の決定に係る各調査のための発注者支援	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 地域開発部 研修社員 補助作業員 公共施設引継書作成業務委託 〇〇土地区画整理事業 うち 公共施設引継書作成補助、とりまとめ	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市計画課 社員 作業員 〇〇土地区画整理事業 A=5.0ha うち 道路占用許可申請書準備、許可証台帳整理	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係員 補助技術者 〇〇公園基本計画委託(その1) A=16.0ha、総合運動公園改修計画	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係長 担当技術者 都市公園長寿命化計画策定業務委託 都市公園4箇所(〇〇公園10ha、〇〇公園5ha、〇〇公園3ha、〇〇公園2ha) うち 各種施設データの収集・整理および台帳作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市開発部 次長 現場代理人 〇〇地区市街地再開発事業 再開発事業4.0ha、再開発施設7棟 延床面積150000㎡	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主事 管理技術者 〇〇市災害公営住宅整備・供給に係る実施計画策定検討業務 供給規模360戸 整備面積3.3ha 市民意向調査、計画検討一式、各種要項作成、標準仕様書作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計本部 相談役 照査技術者 〇〇市街地再開発設計関連事業推進業務 市街化区域6.3ha、再開発多目的ビル4棟、商業ビル2棟 設計変更、設計変更に伴う各種許認可申請書作成	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません	
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 監査役 技術総括 〇〇駅周辺公共交通基本構想策定業務(その2) 対象地区約92ha まちづくりマスタープランの変更(土地利用、交通基礎調査、計画理念の検討、交通導線検討) うち 指導、技術的助言	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明事項	上記のとおり実務経験を有することを確認する。	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

このような記載の場合
は経歴として評価されない、
または低減して評価されることがあります！

- 記載要領
- 「業務内容」を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

(第1号別添4)

(A4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主査 <u>現場技術</u> 〇〇会館整備基礎資料作成業務 A=0.9ha 文化交流施設新築に係る基本計画作成、建設地選定に係る都市計画基礎調査、施設規模・内容の決定に係る各調査のための発注者支援	〇〇不動産(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 地域開発部 研修社員 補助作業員 公共施設引継書作成業務委託 <u>面積146.0ha</u> 、〇〇土地区画整理事業 うち 公共施設引継書作成補助、とりまとめ	〇〇市	〇〇〇, 〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市計画課 社員 作業員 〇〇土地区画整理事業 A=5.0ha うち 道路占用許可(<u>県道、市道</u>)申請書準備 <u>N=160</u> 、許可証台帳整理	〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係員 補助技術者 〇〇公園基本計画委託(その1) A=16.0ha、総合運動公園改修計画 <u>うち、老朽化施設・異具の撤去作業動線の計画、作業車両進入設計書</u>	〇〇株	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 環境計画課 係長 担当技術者 都市公園長寿命化計画策定業務委託 都市公園4箇所(〇〇公園10ha、〇〇公園5ha、〇〇公園3ha、〇〇公園2ha) うち <u>長寿命化計画を策定するための管理器具施設データの収集・整理および台帳作成</u>	〇〇県	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 都市開発部 次長 現場代理人 〇〇地区市街地再開発事業 再開発事業4.0ha、再開発施設7棟 延床面積150000㎡ <u>街区基礎整備工事管理、街区道路工事管理</u>	(株)〇〇総合研究所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× プロジェクト推進室 主事 管理技術者 〇〇市災害公営住宅整備・供給に係る実施計画策定検討業務 供給規模360戸 整備面積2.3ha 市民意向調査、 <u>エリア別供給戸数計画検討、市民数集要項作成、住字標準仕様書作成</u>	〇〇県住宅整備公社	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計本部 相談役 照査技術者 〇〇市街地再開発設計関連事業推進業務 市街化区域6.3ha、再開発多目的ビル4棟、商業ビル2棟 <u>条件変更に伴う設計変更(変更設計図作成、変更全体設計書作成)、建築確認変更申請書作成、住字性能評価書作成</u>	〇〇地区市街地再開発組合	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 監査役 技術総括 〇〇駅周辺公共交通基本構想策定業務(その2) 対象地区約92ha まちづくりマスタープランの変更(土地利用、交通 <u>整備</u> の基礎調査、 <u>駅前広場</u> 理念の検討、 <u>駅前広場</u> 交通導線検討) うち 指導、技術的助言	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明事項	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

- 記載要領
- 「業務内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

14. 地質部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

(第1号別添4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 高速〇〇号線〇〇トンネル部調査業務 2種2級、調査ボーリング N=110 延長=2630m うち ボーリング出来高管理、柱状図管理および検証、現場立会	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区地すべり防止工事(調査業務委託) うち ボーリング機器設置	→業務の積元が不明 施設の規模が把握できません	〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区治山事業調査業務 地下探査、載荷試験3箇所 うち 電気探査機器の運搬、測量機材運搬および設置	→業務の積元があいまい 業務の規模が把握できません	〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇線ふるさと林道緊急整備工事調査業務 調査ボーリング7本延48m、標準貫入試験24回、現場透水試験6箇所、 地下水検層6箇所	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区地すべり防止調査等業務 A=4.2ha うち 解析3断面、各種設計、控え杭検討、水抜きボーリング配置検討 および流末処理計画	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 一般国道〇〇号道路改良工事に伴う地質調査業務委託 3種2級 機械ボーリング(18本延500m)、スウェーデン式サウンディング(10箇所)	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇河川堤防詳細点検 〇〇水系一級河川〇〇川 機械ボーリング(45本延420m)、各種現場試験(103回)、土質試験、 機構解析、地質構造図作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇港清走路延長部埋め立て工事に伴う地質調査業務 ボーリング22本計119m、サンプリング8本 圧縮試験8試料、圧密試験8試料、沈下量解析、促進工法3種提案 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇団地〇〇台3丁目造成事業設計業務 A=4.5ha 機械ボーリング40本延270m、解析20断面、圧縮試験20試料、液状化解析、 報告書執筆の各技術指導および助言	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのが具体的に記載してください	〇〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明	上記のとおり実務経験を有することと相違ないことを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)	

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務内容を詳細に記載すること。
2 R C C Mを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務内容を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

(第1号別添4)

(第1号別添4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現地技術 高速〇〇号線〇〇トンネル部調査業務 2種2級、調査ボーリング N=110 延長=2630m うち ボーリング出来高管理、柱状図管理および検証、現場立会	〇〇公団 〇〇支社	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇地区地すべり防止工事(調査業務委託) 調査ボーリング(4本延150m) うち ボーリング機器設置	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区治山事業調査業務 電気探査(40m)、平面載荷試験3箇所 うち 電気探査機器の運搬、測量機材運搬および設置	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇線ふるさと林道緊急整備工事調査業務 調査ボーリング7本延48m、標準貫入試験24回、現場透水試験6箇所、 地下水検層6箇所 うち ボーリング調査箇所の検討	〇〇県〇〇町役場	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇地区地すべり防止調査等業務 A=4.2ha うち 斜面安定解析3断面、アンカー工の設計、管状杭設計、控え杭 検討、水抜きボーリング配置検討および流末処理計画	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 一般国道〇〇号道路改良工事に伴う地質調査業務委託 3種2級 機械ボーリング(18本延500m)、スウェーデン式サウンディング(10箇所) うち、現場整理、出土形確認	〇〇国道事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇河川堤防詳細点検 〇〇水系一級河川〇〇川 機械ボーリング(45本延420m)、標準貫入試験(103回)、土質試験 (土質データの密着試験10試料、含水比試験10試料、圧密試験10試料、 土圧計9試料)、 機構解析、地質構造図作成	〇〇河川事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇港清走路延長部埋め立て工事に伴う地質調査業務 海上ボーリング22本計119m、シリンダーサンプリング8本 圧縮試験8試料、圧密試験8試料、圧密沈下量解析、促進工法3種提案	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇団地〇〇台3丁目造成事業設計業務 A=4.5ha 機械ボーリング40本延270m、 解析20断面、 圧縮試験20試料、 液状化解析、報告書執筆の各技術指導および助言	(株)〇〇不動産	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明	上記のとおり実務経験を有することと相違ないことを証明する。 平成〇年〇月〇日	証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)	

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

15. 土質及び基礎部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 支社長補佐 〇〇工区土壌調査 調査ボーリング48箇所(延700m)、水質調査23箇所、標準貫入試験360回、サンプリング30個、現場透水試験6回 発注積算資料作成補助、清算書検算、請求書記載内容確認	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 〇〇課 研修社員 補助作業員 主要地方道〇〇線道路改良工 うち ボーリング作業補助、傾斜計設置測量		→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 職長 作業員 〇〇総合流域防災事業(傾斜) 重力式擁壁 うち 仮設工測量、現場測量、完了検査立会		→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 主査 補助技術者 〇〇急傾斜地崩壊対策工事 水抜きボーリング 5本 延長計150m		→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術計画課 課長補佐 担当技術者 〇〇支所敷地調査業務 敷地測量900㎡、ボーリング4本(延<50m) うち 標準貫入試験47回、室内試験、地盤解析 土質定数の検討、報告書執筆		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 主任 現場代理人 一般県道〇〇線付帯機能代替施設設計業務 道路横断農業排水路(BOXカルバート B2500×H2000、L=23m)、基礎杭工(PCφ300mm、L=6.5m)		→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 部長 管理技術者 〇〇施設ストックマネジメント事業 L型水路(B3.75m×H1.0m、L=300m) 土質ボーリングL=15m×2箇所、基礎処理工法の検討一式		→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇× 設計部 部長 照査技術者 〇〇道路拡幅工事詳細設計業務 盛土H=5.3m B=4~17(拡幅部盛土底幅) 対策設計、安全率の計算、深層混合工法の検討 ・(株)〇× 設計部 参与 技術総括 〇〇自動車道基礎材料検討業務 1種3級 L=1.3km B=11m 試験一式、室内試験、地下水位解析、各種解析 指導、技術的助言		→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することを証明する。 平成〇年〇月〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 支社長補佐 <u>現場技術</u> 〇〇工区土壌調査 調査ボーリング48箇所(延700m)、水質調査23箇所、標準貫入試験360回、サンプリング30個、現場透水試験6回 発注積算資料作成補助、清算書検算、請求書記載内容確認	〇〇県〇〇市役所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 〇〇課 研修社員 補助作業員 主要地方道〇〇線道路改良工事(L=1.0km、W=6.0m、3種3級)ボーリング3本延30m、3方傾斜計10箇所 うち ボーリング作業補助、傾斜計設置測量	〇〇県〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 職長 作業員 〇〇総合流域防災事業(傾斜) 重力式擁壁 <u>高さH=2.0~5.0m、延長L=310m</u> うち 仮設工測量、現場測量、完了検査立会	〇〇県〇〇町	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術管理課 主査 補助技術者 〇〇急傾斜地崩壊対策工事 水抜きボーリング 5本 延長計150m うち 斜面对策工工事設置現場の構造検討、水抜き管改良試験(漏水防止のため重保護管(φ40mm、φ30mm)の提案)	〇〇県〇〇地域振興局土木部〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 技術計画課 課長補佐 担当技術者 〇〇支所敷地調査業務 敷地測量900㎡、ボーリング4本(延<50m) うち 標準貫入試験47回、室内試験(土の細粒分含有率試験、一軸圧縮試験)、地盤解析 土質定数(C、φ)の検討、報告書執筆	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 主任 現場代理人 一般県道〇〇線付帯機能代替施設設計業務 道路横断農業排水路(BOXカルバート B2500×H2000、L=23m)、基礎杭工(PCφ300mm、L=6.5m) <u>施工監理、出来形確認、検査立会</u>	〇〇市〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 部長 管理技術者 〇〇施設ストックマネジメント事業 L型水路(B3.75m×H1.0m、L=300m) 土質ボーリングL=15m×2箇所、 <u>軟弱基礎地盤の形状と地下解析による基礎処理工法(深層攪拌、ドレーン、深層工法)の検討</u>	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 部長 照査技術者 〇〇道路拡幅工事詳細設計業務 道路新設盛土H=5.3m B=4~17(拡幅部盛土底幅) <u>盛土による軟弱粘性土層の透り対策設計、透り安全率の計算、セメントミキシルによる深層混合工法の検討</u>	〇〇市〇〇課	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 設計部 参与 技術総括 〇〇自動車道基礎材料検討業務 1種3級 L=1.3km B=11m <u>試験、室内試験、<u>圧入試験</u>、<u>三軸圧縮</u>、<u>土質定数検定(C、φ)</u>、地下水位解析、<u>四極弾力解析</u> 指導、技術的助言</u>	(株)〇〇	〇〇, 〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			
証明欄	上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。 平成〇年〇月〇日 証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男	証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)		

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を記載すること。

16. 鋼構造及びコンクリート部門

(第1
別添4)

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

天 枋 柱 限 有 限 公 司

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー ○頭首工実施設計 2級河川○○川 鋼製起伏式ゲート L=7.3m×3 門 (25.2m) H=1.7m うち 協議図面作成、協議実施 (説明者補助)	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	○○ ○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 国道○○号 (○橋) 橋梁震災対策設計 (歩道) うち 現況調査 (橋梁劣化状況確認L=15.6m)、調査台帳入力	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○川通常砂防調査設計砂防堰堤詳細設計 (重力式コンクリートダ ム) うち 平面測量A=2400m ² 、現地踏査、試験場3箇所	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○○駅前地下歩行者道詳細設計業務 鋼製カルバートH3.0m×B6.5m L=35m	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長補佐 担当技術者 ○○漁港開閉扉更新設計業務 鋼製横引き門H=4m W=18m、6m×2箇 所、遮断操作装置 うち 施設設計、耐震性能評価、事業計画、門扉耐塩塗料の検討 (有 機系)	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県道○線特殊改良第一種工事 L=45m W=16m 4種3級、路側擁壁工 (コンクリートもたれ式擁壁) L=31m H=2.5~5.5m V=490.4m ²	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道○地区橋梁設計業務 プレテンション単床床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、橋台2基 各種設計、施工時における仮設構 造物検討一式	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	・(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 市道田国道○号線道路詳細設計 3種4級 コンクリート管渠W=1.5m H=1.2m L=15.0m、PC床板W=2.9m L=10.5m 管渠詳細設計、床版詳細設計、地盤対策検討 ・(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 汚水処理施設実施設計業務 汚水処理水槽 容量223m ³ (据付機器を 除く躯体のみ) 実施設計 (詳細設計)の指導、技術的助言	→業務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

(第1
別添4)

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

用紙A4)

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の 名 称	契約金額 (千円)
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> ○頭首工実施設計 2級河川○○川 鋼製起伏式ゲート L=7.3m×3 門 (25.2m) H=1.7m うち 協議図面作成、協議実施 (説明者補助)	○○県○○市役所	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 国道○○号 (○橋) 橋梁震災対策設計 (歩道) <u>3種2級 延長</u> <u>L=15.6m W=3.3m (プレテンPC単床中空床板橋) 耐震L<4.1?</u> うち 現況調査 (橋梁劣化状況確認L=15.6m)、調査台帳入力	○○県○○課	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 係員 作業員 ○川通常砂防調査設計砂防堰堤詳細設計 <u>H=12.5m W=30.0m</u> (重力 式コンクリートダム) うち 平面測量A=2400m ² 、現地踏査、試験場3箇所	○○県○○町	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○× 事業部 係長 補助担当者 ○○駅前地下歩行者道詳細設計業務 鋼製カルバートH3.0m×B6.5m L=35m <u>うち、土留工設計 (掘削土留め) H=8.0m、地下埋設管・破産物調査</u> <u>(台帳調査およびレーザ読取)</u>	○○県○○振興局土木部 ○○課	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長補佐 担当技術者 ○○漁港開閉扉更新設計業務 鋼製横引き門H=4m W=18m、6m×2箇 所、遮断操作装置 うち <u>水密シール設計、耐震性能評価 (レベル2)、RC計画、門扉耐</u> <u>塩塗料の検討 (有機系)</u>	(株)○○	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 県道○線特殊改良第一種工事 L=45m W=16m 4種3級、路側擁壁工 (コンクリートもたれ式擁壁) L=31m H=2.5~5.5m V=490.4m ² <u>うち、現場施工管理 住居対応 (説明会、見学会を含む)</u>	○○市○○課	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道○地区橋梁設計業務 プレテンション単床床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、 <u>重力式橋台2基 橋梁詳細設計、工法詳細</u> <u>設計、工事現場踏査、仮設構造物設計</u>	○○県○○局	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 市道田国道○号線道路詳細設計 3種4級 <u>農業用水路箱型コン</u> <u>クリート管渠W=1.5m H=1.2m L=15.0m、道部並出PC床板W=2.9m L=10.5m</u> 管渠詳細設計、床版詳細設計、 <u>軟弱地盤対策検討</u>	○○市○○課	○○, ○○○
自 ○ 年 ○ 月 至 ○ 年 ○ 月	○ 年 ○ 月	(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 汚水処理施設実施設計業務 汚水処理水槽 <u>(鉄筋コンクリート造)</u> 容 量223m ³ (据付機器を除く躯体のみ) 実施設計 (詳細設計)の指導、技術的助言	(株)○○	○○, ○○○
小 計 (累 計)	○ 年 ○ 月 (○ 年 ○ 月)			

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は
を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の
記載は、当該部門に関する
実務経験であることや、技術
的内容を含む実務経験である
ことが明確に分かるよう、具体
的かつ詳細に記載して下さい。

17. トンネル部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

天 務 経 験 証 明 書

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇交差点歩行者専用横断トンネル調査設計業務 3種1級 L=32m うち 工数量算出、協議図面作成、協議実施(説明者)、住民ヒアリング同席	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇トンネル補修設計業務 うち 現況調査(トンネル劣化状況確認)、点検マニュアル案作成	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇共同溝詳細設計業務 H=2.5m B=6.0m L=1100m うち 平面測量L=1900m、地質調査11箇所、試験場6箇所	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇環状道路(〇〇地区)施工計画検討業務 4種2級 開削半地下式トンネル L=780m B=48m(側道合流部を含む) 逆巻き工法 連続地中壁	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線道路設計業務 3種3級 W=10m トンネル延長1300m、NATM工法 うち 各種施設および機器設計、換気計画検討および設備設計	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 広域下水〇〇幹線第3期工事 掘削深18~33m φ2.2m L=2300m、シールド掘進(一部鋼製セグメント)	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇国〇〇市地下鉄建設プロジェクト 〇〇駅東側北向シールド機掘進および換気立坑建設(φ40m×H40m)、連続地中壁(壁厚1.0m、岩着)、逆巻き工法 施工計画、仮設構造物設計、地下水対策検討	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄〇〇線延伸事業 複線4.2km 3駅、土圧バランスシールド工法 PCセグメント(内径5.7m) 設計照査、品質管理、施工計画審査及び施工管理	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません	〇〇 〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム仮排水路トンネル(上部半円下部矩形、B=3m、H=3m、L=820m) 掘削ルート計画検討、覆工設計(巻厚500mm)、地盤改良材設計(注入圧20kgf/cm ²) うち 計画作成指導、技術的助言	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	〇〇 〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 現法技術 〇〇交差点歩行者専用横断トンネル調査設計業務 3種1級 L=32m うち 工数量算出、協議図面作成、協議実施(説明者)、住民ヒアリング同席	〇〇県道路部	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇トンネル補修設計業務 1種2級 うち 現況調査(トンネル劣化状況確認 ^{L=15.6m})、点検マニュアル案作成	〇〇県〇〇土木事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇共同溝詳細設計業務 H=2.5m B=6.0m L=1100m 新オーブンシールド工法 プラスキャスト部材使用 うち 平面測量L=1900m、地質調査11箇所、試験場6箇所	〇〇局〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇環状道路(〇〇地区)施工計画検討業務 4種2級 開削半地下式トンネル L=780m B=48m(側道合流部を含む) 逆巻き工法 連続地中壁 うち 掘削する地下鉄トンネルへの影響検証	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 主要地方道〇〇線道路設計業務 3種3級 W=10m トンネル延長1300m、NATM工法 うち 照明施設設計、非常用施設設計、換気計画検討および設備設計	〇〇県〇〇地域振興局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 広域下水〇〇幹線第3期工事 掘削深18~33m φ2.2m L=2300m、シールド掘進(一部鋼製セグメント) 掘削加工管理(埋設管終設及び切戻し工、地中連続壁(600)ガイドウォール構築)、住民対応(説明会)	〇〇県東部上下水道公社	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇国〇〇市地下鉄建設プロジェクト 〇〇駅東側北向シールド機掘進および換気立坑建設(φ40m×H40m)、連続地中壁(壁厚1.0m、岩着)、逆巻き工法 掘削施工計画、シールド機掘進反力設計、地下水対策検討	〇〇国都市鉄道省	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇電鉄〇〇線延伸事業 複線4.2km 3駅、土圧バランスシールド工法 PCセグメント(内径5.7m) セグメント設計照査、セグメント製作品質管理、シールドトンネル施工計画審査及び施工管理	〇〇電鉄(株)	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム仮排水路トンネル(上部半円下部矩形、B=3m、H=3m、L=820m) 掘削ルート計画検討、覆工設計(巻厚500mm) グラウチング設計(注入圧20kgf/cm²) うち 計画作成指導、技術的助言	〇〇県農林振興局	〇〇, 〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。
証明者と被証明者との関係 (証明を得ることができないときはその理由)

平成〇年〇月〇日
証明者 (株)〇×設計 代表取締役 〇田〇男

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

実務経験証明書

(第
別添

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇トンネル機能改善工事調査設計業務 1種2級 L=130m B=9m (上下線) うち 現地調査(照明施設調査、交通安全施設調査、覆工調査)、数量算出 工事図面作成 積算資料作成	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 広域林道〇〇線道路詳細設計業務 うち 現地調査及び図面作成補助	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区現場技術業務 〇〇地区海岸保全事業 離岸堤 平均水深6m、捨石工、吸出し防止マット工 うち 現地調査(浅深・汀線測量)及び積算資料作成	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇団地内〇〇号道路改良工事その11ほか 4種4級 合計L=520m、 W=5.0m(側溝を除く) 排水性舗装	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 主任 担当技術者 〇〇橋梁架設復旧工事 道路橋(PCプレテンホロー桁) 橋長 L=12.3m、W=14.0m うち 盛土設計および土砂運搬計画策定、各種配筋図作成	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇川堤防耐震化工事 〇〇水系2級河川〇〇川 右岸L=220m H=3.5 ~4.0m	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道〇〇地区橋梁設計業務 耐震性鋼主桁プレテンション単 純床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、重力式橋台2基、免震ゴム支承 詳細設計、工法の検討、各種環境影響検討一式	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	・(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇空港拡張工事施工管理基準検討業務 A滑走路南方延伸400m(付 帯施設を除く) 空港の通常営業への影響を考慮した検討、環境影響評価 ・(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム転流工事 〇〇水系2級河川〇〇川 重力式 高さ8m CoV=380m ³ うち 設計指導、施工計画の立案指導、計画策定への助言	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指 導・助言を行ったのか具体的に記載してください	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されな
い、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務」を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

青字は「悪い事例」との違い

(第1号
別添4

(A4)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> 〇〇トンネル機能改善工事調査設計業務 1種2級 L=130m B=9m (上下線) うち 現地調査(照明施設調査、交通安全施設調査、覆工調査)、数量算出 工事図面作成 積算資料作成	〇〇省〇〇河川道路事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 広域林道〇〇線道路詳細設計業務 <u>L=324m、W=12.0m 設計速度40km/h</u> うち 現地調査及び図面作成補助	〇〇県営林産業振興局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇地区現場技術業務 〇〇地区海岸保全事業 <u>離岸堤架設橋台L=50m、B=35m(基部最大幅)</u> 平均水深6m <u>3基</u> 、捨石工、吸出し防止マット工 うち 現地調査(浅深・汀線測量)及び積算資料作成	〇〇局〇〇事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×事業部 係長 補助担当者 〇〇団地内〇〇号道路改良工事その11ほか 4種4級 合計L=520m、 W=5.0m(側溝を除く) 排水性舗装 うち <u>現場打ち型側溝(φ=105mm)の各品管理項目検討、出水部管理 検査完了</u>	〇〇県〇〇町	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 主任 担当技術者 〇〇橋梁架設復旧工事 道路橋(PCプレテンホロー桁) 橋長 L=12.3m、W=14.0m うち <u>橋台基礎盛土設計および土砂運搬計画策定、橋台および下部配筋図作成</u>	〇〇県〇〇課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇川堤防耐震化工事 〇〇水系2級河川〇〇川 右岸L=220m H=3.5 ~4.0m うち <u>工期管理、現場安全管理、作民啓蒙の実施(説明者)、検査実施</u>	〇〇県東整備事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 ふるさと農道〇〇地区橋梁設計業務 耐震性鋼主桁プレテンション単 純床板橋 L=10.5m W=8.0m 3種4級、重力式橋台2基、免震ゴム支承 <u>構造詳細設計、工法の検討、側溝を含み排水処理方法の検討</u>	〇〇県〇〇農業振興事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇空港拡張工事施工管理基準検討業務 A滑走路南方延伸400m(付 帯施設を除く) 空港の通常営業への影響を考慮した <u>施工管理規格の変更検討、延滞 方向付帯帯への施工時の環境影響評価</u>	〇〇県〇〇空港港湾局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇ダム転流工事 〇〇水系2級河川〇〇川 重力式 高さ8m CoV=380m ³ うち <u>コンクリート打設設備の設計指導、施工計画の立案指導、並行 RCCM計画策定への助言</u>	〇〇県〇〇市	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的に詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

19. 建設環境部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

天 務 経 験 証 明 書

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー 〇〇都市高速音壁詳細設計 ○〇号線 2種1級 L=830m、透過型光触媒音壁(上下線左右)H2.5m うち 音壁一般図作成、数量計算、施工工程検討、住民説明資料作成	〇〇 〇〇	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇ダム流量観測及び水質調査業務委託 うち 平時水質調査4地点×12回、高水時水質調査2地点×5回、底質調査2地点×2回(全て船上調査)	〇〇 〇〇	→業務の贈元が不明 施設の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 一般国道〇〇号単車道路調査「測量及び調査委託」1種3級 うち 騒音調査機器設置及び観測作業6箇所、交通量測定	〇〇 〇〇	→業務の贈元があいまい 業務の規模が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 県営〇〇地区農免農道整備関連河川水辺環境調査「生物調査」業務 設計速度40km/h L=4.5km、2級河川〇〇川 L=1.0km	〇〇 〇〇	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇漁港高度利用促進工事「底質調査委託」 調査対象面積 A=0.72km ² (水+陸合計) うち 底質調査11所、底質分析 面積0.25km ² 、水深3m~10m、海洋環境影響予測	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇市平成〇〇年度堆雪場基礎整備工事 A=7.3ha 計画堆雪高 最大H=8.0m、搬入口 4箇所	〇〇 〇〇	→業務内容が不明 業務内容が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 大気等常時観測業務 管内20局(浮遊物質、化学物質、騒音、気温、湿度、日射量)、対象面積A=3km ² 計測機器の管理及びデータ整理(隔週)、コンター図作成(毎月)	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 相談役 照査技術者 水辺再生基本計画策定業務委託 ○〇水系2級河川〇〇川〇〇地区右岸高水敷A=1.2ha、下水処理場再生水L=130m、スロープ及びテラスN=1、基本計画策定、水質管理項目決定	〇〇 〇〇	→実務経験年数はまともでない 業務ごとの実務経験年数が把握できません
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 監査役 技術統括 〇〇空港新滑走路運用に伴う航空機騒音測定及び対策検討業務 滑走路延長L=1800m 離着陸1800回/年、空港周辺3地点騒音計測、環境基準に関する指導、騒音対策案の策定方策指導	〇〇 〇〇	→業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に關し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期 間	実務経験年数	業 務 の 内 容	契約相手方の名称	契約金額 (千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 グループリーダー 理地技術 〇〇都市高速音壁詳細設計 ○〇号線 2種1級 L=830m、透過型光触媒音壁(上下線左右)H2.5m うち 音壁一般図作成、数量計算、施工工程検討、住民説明資料作成	〇〇都市高速第〇〇区維持管理センター	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇ダム流量観測及び水質調査業務委託 多目的ダム 遼水面積 1.83km² 挑高12.0m うち 平時水質調査4地点×12回、高水時水質調査2地点×5回、底質調査2地点×2回(全て船上調査)	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 設計部 係員 作業員 一般国道〇〇号単車道路調査「測量及び調査委託」1種3級 L=9.0km うち 騒音調査機器設置及び観測作業6箇所、交通量測定 5箇所	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇 事業部 係長 補助担当者 県営〇〇地区農免農道整備関連河川水辺環境調査「生物調査」業務 設計速度40km/h L=4.5km、2級河川〇〇川 L=1.0km うち 道路工事前の地区内および河川内オオサンショウウオの生息状況調査及び捕獲・保護 報告書執筆	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇漁港高度利用促進工事「底質調査委託」 調査対象面積 A=0.72km ² (水+陸合計) うち 底質調査11所、底質分析 (海洋法基準項目) 面積0.25km ² 、水深3m~10m、 調査結果に基づき漁港工事に伴う海洋環境影響予測	〇〇県〇〇市	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 チーフ 現場代理人 〇〇市平成〇〇年度堆雪場基礎整備工事 A=7.3ha 計画堆雪高 最大H=8.0m、搬入口 4箇所 搬入物の流出防止対策地および堆積物設置、前辺常設防止壁設置(L=350m H=8m)、搬入口下り取除工事、現場監理	〇〇市〇〇維持管理局	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 技術部 課長 管理技術者 大気等常時観測業務 管内20局(浮遊物質、化学物質、騒音、気温、湿度、日射量)、対象面積A=3km ² 計測機器の 維持管理及び観測データ整理(隔週)、観測データの解析結果を用いた大気汚染物質濃度 コンター図作成(毎月)	〇〇局〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 相談役 照査技術者 水辺再生基本計画策定業務委託 ○〇水系2級河川〇〇川〇〇地区右岸高水敷A=1.2ha、下水処理場再生水 による排水せき止め整備 L=130m、スロープ及びテラスN=1、 〇〇地区高水敷の利用基本計画策定、せき止め等の水質管理項目決定(水質、水辺、水景)	〇〇県〇〇事務所	〇〇, 〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇〇設計 監査役 技術統括 〇〇空港新滑走路運用に伴う航空機騒音測定及び対策検討業務 滑走路延長L=1800m 離着陸1800回/年 空港周辺3地点騒音計測、環境基準との比較評価 および結果の経歴に計る 指導、騒音対策案の策定方策指導	〇〇県〇〇局	〇〇, 〇〇〇
小 計 (累 計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務を詳細に記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

20. 機械部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー ○川河川事務所管内樋門電動化工事 86箇所 うち 電動装置購入積算、フレメータ施設数量算定および積算、ローガー機器購入手続き補助、CCTV装置18基および中央監視装置積算	→業務における立場が不明 会社内の肩書きだけでは不十分です	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○式自立型ブルドーザ性能試験 うち 燃料消費量試験、試験記録(出来形を含む)の整理	→業務の諸元が不明 施設の規模が把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○× 事業部 係員 作業員 国道○○号線○号スノーステーション除雪機器整備業務 うち 除雪車4台の整備と消耗部品交換、管内自発光式エリミネータ動作確認、ヒーティング動作確認、融雪剤自動散布機動作確認、消止め砂補充	→業務の諸元があいまい 業務の規模が把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 係長 補助担当者 ○道路詳細設計業務 3種5級 W=10m、L=250m	→業務のうち実際に担った内容が不明 担当した内容を記載してください	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○ダムCSG骨材プラント設備計画 台形CSG式ダム H=16m V=15000m ³ うち 各種設備の設計 A=300m ²	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○電鉄○保線区保線工事 管理延長複線23km	→業務内容が不明 業務内容が把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○自動車道○トンネル気設備更新設計業務 設備撤去計画一式、各種計画および使用機材選定、環境項目計測機器配置計画	→業務内容があいまい 業務内容が詳細に把握できません	
自○年○月 至○年○月	○年○月	・(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○河川国道事務所管理用電気通信施設詳細設計業務 ○○岳泥流監視施設用予備電源設備(10kVA×1台)24時間連続運転 予備電源設計、各種監視システム詳細設計、警報基準の設定、会議用資料作成 ・(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○川排水機械設備詳細設計業務 ポンプ(64kw、φ400×3台)、自家発電(75kVA×1台)、水門設計一式、巻上げ機設計、遠隔監視設備各詳細設計	→実務経験年数はまとめない 業務ごとの実務経験年数が把握できません →業務内容があいまい 「技術的指導・助言」については、何に関し、指導・助言を行ったのか具体的に記載してください	
小計 (累計)	○年○月 (○年○月)			

このような記載の場合
は経歴として評価されない、
または低減して評価されることがあります！

- 記載要領
- 「業務」を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、RCCMを認定の要件とする業務についてのみ記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

認定対象者の氏名 ○ ○ ○ ○

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 グループリーダー <u>現場技術</u> ○川河川事務所管内樋門電動化工事 86箇所 うち 電動装置購入積算、フレメータ施設数量算定および積算、ローガー機器購入手続き補助、CCTV装置18基および中央監視装置積算	○川河川事務所	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 研修社員 補助作業員 ○式自立型ブルドーザ性能試験 <u>3台、GPS測位、J.P.補正</u> うち 燃料消費量試験、試験記録(出来形を含む)の整理	(独)○○研究所	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○× 事業部 係員 作業員 国道○○号線○号スノーステーション除雪機器整備業務 うち <u>除雪用ロータリー式</u> 除雪車4台の整備と消耗部品交換、管内自発光式エリミネータ動作確認 <u>12基</u> 、ヒーティング動作確認 <u>23箇所</u> 、融雪剤自動散布機動作確認 <u>16基</u> 、消止め砂補充	○国道事務所	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 係長 補助担当者 ○道路詳細設計業務 3種5級 W=10m、L=250m うち <u>路肩および路盤工事におけるグレーダーの機材選定(セルト機材)、使用計画</u>	○道路(株)	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 係長 担当技術者 ○ダムCSG骨材プラント設備計画 台形CSG式ダム H=16m V=15000m ³ うち <u>骨材破砕設備および骨材洗浄設備の設計 A=300m²</u>	○県農林水産・山間地振興局	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 チーフ 現場代理人 ○電鉄○保線区保線工事 管理延長複線23km うち <u>マルチプラットフォームによる施工監理、レール研削機による施工監理、間切住居対応</u>	○電鉄保線工務部	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 技術部 課長 管理技術者 ○自動車道○トンネル気設備更新設計業務 <u>構造トンネル排気設備撤去計画、ジェット気流計画</u> および機材選定、 <u>坑口環境項目計測機器配置計画</u>	○道路会社(株)	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 設計部 設計部長 照査技術者 ○河川国道事務所管理用電気通信施設詳細設計業務 ○○岳泥流監視施設用予備電源設備(10kVA×1台)24時間連続運転 予備電源設計、 <u>遠隔監視設備</u> および <u>伝送システム</u> 詳細設計、警報基準の設定、 <u>管内自治体連合会議用資料</u> 作成	○河川国道事務所	○○,○○○
自○年○月 至○年○月	○年○月	(株)○×設計 代表取締役社長 技術統括 ○川排水機械設備詳細設計業務 <u>ポンプ(64kw、φ400×3台)</u> 、 <u>自家発電(75kVA×1台)</u> 、 <u>水門設計</u> 、 <u>巻上げ機設計</u> 、 <u>遠方監視機材選定およびCCTV設備詳細設計</u>	○県東部県土整備事務所	○○,○○○
小計 (累計)	○年○月 (○年○月)			

上記のとおり実務経験を有することに相違ないことを証明する。
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
証明者 (株)○×設計 代表取締役 ○田○男

証明者と被証明者との関係
(証明を得ることができないときはその理由)

- 記載要領
- 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
 - RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務についてのみ記載すること。

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的にかつ詳細に記載して下さい。

21. 電気電子部門

業務内容の記載が曖昧な 悪い事例

(第1別添)

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 〇〇市防災無線維持管理・更新工事 防災無線鉄塔 N=12 最大H=18m、防災無線コンクリート柱 N=23 H=9m 鉄塔防錆材塗布量積算および出来高管理、放送スピーカ更新設計図書作成補助、テレメータ機器設計図書作成補助	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇自動車道〇〇トンネル非常用通信設備設計業務 うち 非常電話設置位置の検討、電源供給ルートの検討	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇河川事務所テレメータ設備維持管理業務 CCTVカメラ、各種水文観測機器計40基、マイクロ受信機 うち 電気通信設備台帳整理	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇河川監視設備設計業務 〇〇水系一級河川〇〇川	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇道路電気施設設計業務 1種3級 L=630m うち トンネル電気設備の設計一式	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 道の駅〇〇道路交通情報表示板設置工事 N=1	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇市役所BCP計画策定 震災に対応した設備の強化課題の検討、通信網の多ルート化の検討、非常用設備の耐震化検討、各種調達計画策定、広域計画策定	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇道路事務所管内道路橋維持補修計画システム検討業務 センサを用いた鋼構造物の計測システムの検討、構造物の状況の連続計測の検討 (株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇駅ホームドア設置に伴う位置停止支援装置設計委託 位置停止装置の調整法に関する技術支援および助言、停止位置修正のための情報フィードバック方式助言	〇〇〇〇	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

このような記載の場合
は経歴として評価され
ない、または低減して評価
されることがあります！

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について、その業務内容を詳細に記載すること。

業務内容の記載が明確な 良い事例

(第1別添)

用紙A4)

青字は「悪い事例」との違い

期間	実務経験年数	業務の内容	契約相手方の名称	契約金額(千円)
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 グループリーダー 理想技術 〇〇市防災無線維持管理・更新工事 防災無線鉄塔 N=12 最大H=18m、防災無線コンクリート柱 N=23 H=9m 鉄塔防錆材塗布量積算および出来高管理、放送スピーカ更新設計図書作成補助、テレメータ機器設計図書作成補助	〇〇県〇〇市役所〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 研修社員 補助作業員 〇〇自動車道〇〇トンネル非常用通信設備設計業務 1種3級 L=630m うち 非常電話設置位置の検討、電源供給ルートの検討	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 係員 作業員 〇〇河川事務所テレメータ設備維持管理業務 CCTVカメラ 14台 、 水位計14基 、 雨量計18基 、 積雪計8基 、マイクロ受信機 うち 電気通信設備台帳整理	〇〇河川事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇× 事業部 係長 補助担当者 〇〇河川監視設備設計業務 〇〇水系一級河川〇〇川 うち CCTVカメラの機器選定9基(うち3基照像付) 、 単ケーブル取付装置設計 L=70m 、 情報コンセント設置設計 N=36	〇〇河川国道事務所〇〇課	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 係長 担当技術者 〇〇道路電気施設設計業務 1種3級 L=630m うち トンネル 照度設備(H10) 、 高圧受配電設備 の設計	〇〇県〇〇局	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 チーフ 現場代理人 道の駅〇〇道路交通情報表示板設置工事 N=1 室内回線〇〇線に関する情報表示板設置工施工監理、安全対策設計	〇〇局〇〇部	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 技術部 課長 管理技術者 〇〇市役所BCP計画策定 震災に対応した 電気通信設備 の強化課題の検討、 多基無線通信網 の多ルート化の検討、 非常用設備および材料タンクの耐震化検討 、 燃費 調達計画策定、 仮設仮設に基づく広域計画 策定	〇〇県〇〇市役所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 設計部 設計部長 照査技術者 〇〇道路事務所管内道路橋維持補修計画システム検討業務 単ケーブルセンサ を用いた鋼構造物の 応力 計測システムの検討、 単ケーブルセンサ を用いた構造物の 歪み 計測、 亀裂 、 破断 の連続計測の検討	〇〇道路事務所	〇〇,〇〇〇
自〇年〇月 至〇年〇月	〇年〇月	(株)〇×設計 代表取締役社長 技術統括 〇〇駅ホームドア設置に伴う位置停止支援装置設計委託 工場の扉 における位置停止装置の調整法に関する技術支援および助言、 停止時 における位置停止装置修正のための情報フィードバック方式助言	(株)〇〇	〇〇,〇〇〇
小計 (累計)	〇年〇月 (〇年〇月)			

※あくまで例です。業務の内容の記載は、当該部門に関する実務経験であることや、技術的内容を含む実務経験であることが明確に分かるよう、具体的かつ詳細に記載して下さい。

記載要領
1 「業務の内容」の欄は、工事の調査、設計、監理等の業務に関し、その名称又は内容を詳細に記載すること。
2 RCCMを認定の要件とする場合は、管理技術者、主任技術者等として従事した業務について、その業務内容を詳細に記載すること。